

4 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

(ア) 男女別在籍者数 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
男	96	94	100	131	421
女	73	50	52	72	247
計	169	144	152	203	668

※休学者の数は在籍者の内数

(イ) 出身地別在籍者数 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

出身地		1年次	2年次	3年次	4年次	計
山形県内	村山	37	44	45	62	188
	最上	6	8	8	6	28
	置賜	15	9	25	25	74
	庄内	63	43	37	57	200
	小計	121	104	115	150	490
山形県外	青森県	3	4	3	3	13
	岩手県	16	13	12	13	54
	宮城県	14	5	7	12	38
	秋田県	11	14	12	17	54
	福島県	2	4	2	3	11
	神奈川県	0	0	1	0	1
	山梨県	0	0	0	1	1
	新潟県	2	0	0	2	4
	岐阜県	0	0	0	1	1
	福岡県	0	0	0	1	1
	小計	48	40	37	53	178
合計		169	144	152	203	668

(ウ) 退学・除籍・休学の状況 (平成 24 年度) (平成 25 年 5 月 1 日現在)

学年	1年次		2年次		3年次		4年次		計		累計
退学者	0		8		2		2		12		239
除籍者	0		1		0		0		0		19
休学者	前期 0	後期 1	前期 1	後期 3	前期 1	後期 1	前期 2	後期 2	前期 4	後期 7	—

②公益学研究科

ア 男女別在籍者数（平成 25 年 5 月 1 日現在）

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	8	7	1	1	1	18
女	1	1	0	0	1	3
計	9	8	1	1	2	21

イ 出身地別在籍者数（平成 25 年 5 月 1 日現在）

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年
山形県内	村山			1		
	最上	1				
	置賜					
	庄内	8	8			2
	小計	9	8	1	0	2
山形県外	栃木				1	
	小計	0	0	0	1	0
合計		9	8	1	1	2

ウ 退学・休学の状況（平成 24 年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	計
退学者	1	1	2
除籍者	0	0	0
休学者	0	1 (前期)	1

2012年度時間割

〇後期セメスター

Table with columns for semester, time slot (1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th), and class periods. Each period lists course codes, names, instructors, and classrooms. Courses include English, Japanese, Computer, and Social Studies. Some cells are highlighted in yellow.

〇1年生は上段のみ対象。★印は教職課程。▲印はリメディアル科目。アンダーラインがあるものは、再履修者が対象。 (a) 論理的思考を養う基礎科目 (b) 社会福祉 (c) 国際文化 (d) 情報・メディア (e) 外国語 (f) 総合的素養 (g) 地域共生 (h) 芸術・文化 (i) 健康・生活 (j) 環境・安全 (k) 国際・言語 (l) 職業・実践 (m) 基礎・専門 (n) 発展・応用 (o) 学際・統合 (p) その他

(3) 公益学研究科履修科目

2012年度 大学院時間割

時限	月				火				水				木				金				土			
	期前	科目名	教員名	教室	期前	科目名	教員名	教室	期前	科目名	教員名	教室	期前	科目名	教員名	教室	期前	科目名	教員名	教室	期前	科目名	教員名	教室
1時限 9:00 ~ 10:30	前				後				後				後				後				後	政策研究特論b(公民連携論)	出井 信夫	22
	後				後				後				後				後				後			
2時限 10:40 ~ 12:10	前				前				前	公共性の社会学 公共政策論 I	伊藤・渡辺 一ノ瀬 大輔	22 酒田 203	前	演習 II	澤邊 みさ子	21	前	演習 II	平松 緑	酒田	前	統計学	山本 裕樹	23
	後				後	公益ビジネス特論b(企業統治分析)	尾身 祐介	酒田	後				後	地域活性化特論b(中山間離島地域)	オムニバス	酒田	後	演習 II	平松 緑	酒田	後	特別セミナー(自治体経営実務講座)※ 特別セミナー(公益法人論)※	出井・水田 出井 信夫	中教選 中教選
3時限 13:00 ~ 14:30	前	環境マネジメント論	吉山 隆	酒田 211	前				前				前				前	公会計論 演習 II	水田 健輔 出井 信夫	酒田 22	前	公共経営論 論文作成法※	出井 信夫 オムニバス	22 23
	後				後				後				後	公益組織体会計論 演習 II	水田 健輔 澤邊 みさ子	22 22	後	環境科学特論a(食生活と健康)※ 演習 II	平松 緑 出井 信夫	21 22	後	特別セミナー(自治体経営実務講座)※ 特別セミナー(公益法人論)※	出井・水田 出井 信夫	中教選 中教選
4時限 14:40 ~ 16:10	前	会計学【自由科目】	水田 健輔	酒田	前	演習 II 演習 II	高谷 時彦 和田 明子	11 酒田	前				前				前	公益研究特殊講義a (公共経営論) 演習 I	出井 信夫 水田 健輔	22 酒田 201	前	論文作成法※ 政策研究特論a(地方財政論)	オムニバス 出井 信夫	23 22
	後				後	演習 II 演習 II	高谷 時彦 和田 明子	11 酒田	後				後	演習 I	水田 健輔	酒田	後	環境科学特論b(食生活と健康)※ 公益研究特殊講義b (地方財政)	平松 緑 出井 信夫	21 22	後	特別セミナー(自治体経営実務講座)※ 特別セミナー(公益法人論)※	出井・水田 出井 信夫	中教選 中教選
5時限 16:20 ~ 17:50	前				前				前				前				前				前			
	後	地域活性化特論c(農林文化論)	遠山 茂樹	21	後				後				後	障害者福祉論	澤邊 みさ子	22	後				後	特別セミナー(公益法人論)※	出井 信夫	中教選
6時限 18:00 ~ 19:30	前	地域デザイン論 演習 I	高谷 時彦 照井 孫久	22 21	前	NPO・非営利組織論 研究指導 II	洪川 智明 高谷 時彦	21 11	前	社会調査論 演習 II	渡辺・益子 伊藤 真知子	22 酒田	前	福祉政策論 共創の技法※	武田 真理子 温井 亨	22 中教選	前	基幹統計調査論 I ※ 加工統計基礎論※ 演習 II 研究指導 I	桑原 廣美 高橋 睦春 洪川 智明 出井 信夫	21 21 22 23	前			
	後	自治体政策法務論 地域福祉特論a(福祉サービス評価論)	内藤 信 照井 孫久	酒田 22	後	情報処理演習 公益ビジネス特論a(社会起業家論)	西村 まどか 洪川 智明 温井 亨 高谷 時彦	酒田 21 22 11	後	演習 II	伊藤 真知子	酒田	後	演習 II	武田 真理子	22	後	基幹統計調査論 II ※ 演習 I 研究指導 I	桑原 廣美 洪川 智明 出井 信夫	21 22 23	後			
7時限 19:40 ~ 21:10	前	地域福祉特論b(地域福祉ネットワーク論)	照井 孫久 高谷 時彦	21 11	前	演習 I	洪川 智明	21	前	演習 I	渡辺 暁雄	22	前	演習 II 演習 II	温井 亨 武田 真理子	23 22	前	基幹統計調査論 I ※ 加工統計基礎論※ 政策研究特論c (New Public Management)	桑原 廣美 高橋 睦春 和田 明子	21 21 22	前			
	後	演習 I 演習 I	高谷 時彦 照井 孫久	11 21	後	地域活性化特論a(都市中心市街地)	高谷・温井 洪川 智明	22 21	後	演習 I	渡辺 暁雄	22	後	ソーシャルキャピタル論	オムニバス	22	後	基幹統計調査論 II ※	桑原 廣美	21	後			

2012年度大学院時間割（期日指定型講義・集中講義）

1 前期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	論文作成法	遠山 茂樹 和田 明子 松田 憲 松山 薫	4/14・4/28・5/19・6/2・6/16・6/30・7/14・7/28 各土曜3～4時限（7/28は3時限のみ）
期日指定	共創の技法	温井 亨	4/19・4/26・5/12※・5/17・5/24・6/2※・ 6/7・6/14・6/21・6/28・7/5 各木曜日6時限（5/12・6/2は、土曜日2～4時限）
期日指定	基幹統計調査論Ⅰ	桑原 廣美	4/13・4/27・5/18・6/1・6/15・6/29・7/13・7/27 各金曜6～7時限（7/27は6時限のみ）
期日指定	加工統計基礎論	高橋 睦春	4/20・5/11・5/25・6/8・6/22・7/6・7/20・8/3 各金曜6～7時限（8/3は6時限のみ）

2 夏季集中開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
夏季集中	企業と社会論	中谷 常二	8月9日(木)～11日(土) 1時限～5時限

3 後期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	基幹統計調査論Ⅱ	桑原 廣美	10月5日(金)、12日(金)、26日(金) 11月9日(金)、16日(金) 12月7日(金)、14日(金)、1月18日(金) 18:00～21:10
期日指定	環境科学特論a（食生活と健康）	平松 緑	10月26日(金) 11月2日(金)、9日(金)、16日(金)、30日(金) 12月7日(金)、14日(金)、21日(金) 13:00～16:10 ※12月21日のみ13:00～14:30
期日指定	特別セミナー（自治体経営実務講座）	出井 信夫 水田 健輔	10月6日(土)、7日(日)、8日(月)、13日(土)、14日(日) 10:30～16:00
期日指定	特別セミナー（公益法人論）	出井 信夫	11月23日(金)、24日(土)、25日(日)、12月1日(土) 10:30～17:40 ※11月23日のみ10:30～16:00

(4) インターンシップ実施状況

No.	業種	企業・団体名	人数
1	製造業	株式会社ウエノ	2
2		酒田共同火力発電株式会社	1
3	小売業	荘内電気設備株式会社	1
4		トヨタカローラ山形株式会社	1
5		株式会社八文字屋 みずほ八文字屋	1
6		株式会社ホンダ四輪販売北・東北	1
7		高島ワイン株式会社	1
8		ネッツトヨタ山形	1
9		株式会社コミュニティ新聞社	2
10		株式会社山形テレビ	2
11		株式会社ホテルリッチ酒田	2
12		株式会社山形グランドホテル	2
13		庄内観光コンベンション協会	1
14		一般社団法人酒田観光物産協会	2
15		出羽商工会	1
16		山形県商工会連合会	1
17		郵便事業株式会社 酒田支店	3
18		オリーブフリークス株式会社	3
19		温海町森林組合	1
20		庄内町農産物交流施設管理運営組合	1
21	金融業	株式会社荘内銀行	2
22		鶴岡信用金庫	3
23		SMB C日興証券株式会社山形支店	2
24	医療	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	1
25	福祉	社会福祉法人さくら福祉会	1
26		養護老人ホーム 鶴岡市立友江荘	1
27	官公庁	国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所	2
28		国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所	1
29		山形県 本庁	2
30		山形県 村山総合支庁	1
31		山形県 置賜総合支庁	1
32		山形県 最上総合支庁	1
33		山形県 庄内総合支庁	1
34		山形市	2
35		酒田市	3
36		鶴岡市	3
37		新庄市	2
38		庄内町	1

No.	業種	企業・団体名	人数
39	公	遊佐町	2
40		上山市	1
41		尾花沢市	1
42		南陽市	1
43		寒河江市	1
44		天童市	1
45		村山市	1
46		河北町	2
47		朝日町	2
48		川西町	1
49		高島町	1
50		小国町	2
51		柴田町	1
52		羽後町	1
53		大館市	1
54		にかほ市	1
55	五戸町	1	
56		西置賜行政組合消防本部	1
57	その他法人団体	特定非営利活動法人国際ボランティアセンター山形	1
58		酒田まちづくり開発株式会社	1
59		株式会社東洋開発	6
60		長井まちづくりNPOセンター	1
61		特定非営利活動法人 公益のふるさと創り鶴岡	1
62		月山の恵みの里庄内交流推進協議会	1
63	社長インターシツ	ウエノ	1
64		株式会社 亀や	1
65		株式会社ブルー	1
66		株式会社マリーン5清水屋	1
67		株式会社ベスト	1
68		株式会社ふじい	1
69		秋山鉄工株式会社	1
70		酒田第一タクシー株式会社	1
71		株式会社 山本組	1
72		株式会社ホテルリッチ酒田	1
73		株式会社 ひまわり	1
74		株式会社 大商金山牧場	1
		合計	105

2012年度前期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
2時限 10:40~12:10	西村 まどか	B-4							和田 明子	B-2
3時限 13:00~14:30	平松 緑 水田 健輔	B-5 C-4	伊藤眞知子 遠山 茂樹 鎌田 剛 松山 薫	F-3 E-5 E-4 C-3			神田 直弥 一ノ瀬大輔	F-4 D-1		
4時限 14:40~16:10	尾身 祐介 呉 衛峰 小関 久恵	G-1 F-2 H-3	古山 隆 山本 裕樹 菅井 マリ	E-1 I-5 G-4			出井 信夫 松田 憲 呉 尚浩 温井 亨	A-5 I-4 A-2 G-3	広瀬 雄二	B-3
5時限 16:20~17:50	阿部 公一	H-5	内藤 悟 武田真理子 照井 孫久 竹原 幸太 益子 行弘	C-2 E-2 F-1 H-4 H-2			澤邊みさ子	A-4	三原 容子	D-2
6時限 18:00~19:30			三島 憲之	I-3			國眼眞理子 杉山 肇 渡辺 暁雄	G-5 D-5 H-1		

2012年度後期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
2時限 10:40~12:10	西村 まどか	B-4			三島 憲之	I-3				
3時限 13:00~14:30	水田 健輔 和田 明子	C-4 B-2	伊藤眞知子 遠山 茂樹 鎌田 剛 温井 亨	F-3 E-5 E-4 G-3			神田 直弥 一ノ瀬大輔 竹原 幸太	F-4 D-1 H-4		
4時限 14:40~16:10	尾身 祐介 呉 衛峰 小関 久恵 益子 行弘 松山 薫	G-1 F-2 H-3 H-2 C-3	古山 隆 山本 裕樹 菅井マリ- 武田真理子 照井 孫久	E-1 I-5 G-4 E-2 F-1			松田 憲 呉 尚浩 三原 容子	I-4 A-2 D-2 D-2	広瀬 雄二 澤邊みさ子	B-3 A-4
5時限 16:20~17:50	阿部 公一 平松 緑 内藤 悟	H-5 B-5 C-2					洪川 智明 出井 信夫	I-2 A-5		
6時限 18:00~19:30							國眼眞理子 杉山 肇 渡辺 暁雄	G-5 D-5 H-1		

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 渋川智明				
1 専門分野、研究テーマ	公益ビジネス、社会起業、非営利組織				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・やまがた社会貢献基金 運営委員会 ・鶴岡市総合計画審議会 委員・鶴岡市地域密着型 サービス運営委員会 ・鶴岡市介護保険事業計 画策定懇話会 		団体部会長 座長 委員
② その他			

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 出井 信夫				
1 専門分野、研究テーマ	PPP公民連携、第3セクター、地方財政、公益法人				
	単・共著の別	発行又は年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概 要
2 著書 (名称)					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称) ※査読 自治体の出捐・出資法人の公益認定の課題—事例にみる公益認定審議の検証—(1) 3回の連載 自治体の出捐・出資法人の公益認定の課題(2) 自治体の出捐・出資法人の公益認定の課題(3)	単著 単著	H24年10月 H24年12月 H25年2月	『自治研究』 第一法規 『自治研究』 第一法規 『自治研究』 第一法規	27-56 頁 37-55 頁 88- 108頁	はじめに 1 指定管理者制度と公益認定 2 公益財団法人 新潟市開発公社 3 公益財団法人 かしわざき振興財団 4 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 5 一般財団法人 湯沢総合管理公社 6 自治体の出捐・出資法人の移行認定、認可の検証と今後の課題
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 『日本の公民連携・PPPの現状と課題—自治体出資法人・第3セクターを中心に—』 「公民連携・PPPの現状と課題—自治体出資法人・第3セクターを中心に—」	単著 単著	H24年8月30日 H24年11月30日	モンゴル 国際学術交流集会 第3セクター研究会／千葉商科大学経済研究所		日本の公民連携・PPPの現状と課題—自治体出資法人・第3セクターを中心に—発表 公民連携・PPPの現状と課題—自治体出資法人・第3セクターを中心に—発表
8 その他 ① 専門誌 (名称) 『公益』の概念と『公益法人改革』	単著	2012年11月1日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	1頁	巻頭論文：公益の概念と公益法人改革に関する論文

対談「北海道の移行申請・審査の現状」	共著	2012年1月15日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	6頁	北海道における公益認定等審議会の移行申請・審査の現状と課題
対談「福島県の移行申請・審査の現状」	共著	2012年4月15日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	6頁	福島県における公益認定等審議会の移行申請・審査の現状と課題
対談「高知県の移行申請・審査の現状」	共著	2012年11月1日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	6頁	高知県における公益認定等審議会の移行申請・審査の現状と課題
対談「山口県の移行申請・審査の現状」	共著	2012年11月15日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	6頁	山口県における公益認定等審議会の移行申請・審査の現状と課題
対談「神奈川県における移行申請・審査の現状」	共著	2012年12月1日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	6頁	神奈川県における公益認定等審議会の移行申請・審査の現状と課題
対談「島根県の移行申請・審査の現状」	共著	2012年12月1日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	6頁	島根県における公益認定等審議会の移行申請・審査の現状と課題
対談「滋賀県の移行申請・審査の現状」	共著	2012年12月15日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	6頁	滋賀県における公益認定等審議会の移行申請・審査の現状と課題
公会計制度改革1 28回	単著	平成24年4月号	『公明』機関紙	2頁	公会計制度改革1
公会計制度改革2 29回	単著	平成24年5月号	『公明』機関紙	2頁	公会計制度改革2
財務書類作成とその意義 30回	単著	平成24年6月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類作成とその意義
財務書類4表の概要 31回	単著	平成24年7月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類4表の概要
財務書類4表の関連性 32回	単著	平成24年8月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類4表の関連性
財務書類(1)バランスシート① 33回	単著	平成24年9月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類(バランスシート①)
財務書類(1)バランスシート② 34回	単著	平成24年10月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類バランスシート②
財務書類(2)行政コスト 計算書35回	単著	平成24年11月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類行政コスト計算書
財務書類(3)純資産変動 計算書36回	単著	平成24年1月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類純資産変動計算書
財務書類(4)資金収支 計算書37回	単著	平成25年2月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類資金収支計算書
財務書類の活用実態 38回	単著	平成25年3月号	『公明』機関紙	2頁	財務書類の活用実態
② 研究調査報告書 (名称)	単著	H24年6月25日	公明新聞	1頁	新年度予算の読み方(山形県酒田市を例に)の解説
③ その他 (名称) 「私たちの住む自治体の 予算を知ろう」	単著	平成24年8月24日 号	コミュニティしん ぶん	1頁	解説

「第三者組織で多様な議論を」					
----------------	--	--	--	--	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県公益認定等審議会 新潟県県出資法人経営評価委員会 上越市指定管理者選定委員会	H24年1月～H24年12月 H24年1月～H24年12月 H24年1月～H24年12月	委員長代理 委員長 委員長
② その他 講演・講義	宮城県市町村職員研修所 平成23年度管理者研修Ⅲ 「自治体経営」	H24年1月16日	
講演・講義	秋田県にかほ市・山形県遊佐町議会議員協議会 議員研修	H24年11月21日	

東北公益文科大学

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	教授 平松 緑				
1 専門分野、研究テーマ	地域資源の抗酸化性の研究				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別)					
『最上紅花の庄内砂丘の栽培開発と花びらを用いた加工食品の開発』	単	2012年	東北公益文科大学 総合研究論集 第22号	51-86	
『庄内海岸におけるオカヒジキの自生分布および抗酸化作用の検討』	共	2012年	東北公益文科大学 総合研究論集 第23号	1-25	
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表					
『庄内海岸におけるオカヒジキの自生分布および抗酸化作用の検討』	共	2012年 6月7日	第65回日本酸化ストレス学会学術集会	抄録集 P105	
『老化促進モデルマウス(SAMP8/10)の寿命と学習に及ぼす最上紅花の影響』	共	2012年 7月7日	第27回老化促進モデルマウス(SAM)研究協議会	抄録集 P32	
『老化促進モデルマウスの学習及び寿命に対する最上紅花の花弁の効果について』	共	2012年 10月7日	第39回日本脳科学会	抄録集 P44	
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書					
③ その他					
『紅花のふる里』		2012年	C r a d l e 出羽庄内地域文化情報誌	32-35	取材による
『山形の最上紅花』		2013年	Self doctor	14-17	取材による

		3月1日	(株) ジャパンライ フデザインシステム ズ		
--	--	------	------------------------------	--	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会 庄内総合支庁保険企画課 公益財団法人 やまがた農業支 援センター	庄内地域保健医療協議 会 やまがた農産物安全・安 心取組認証審査委員会		委員 委員
② その他 日本てんかん学会 日本脳科学会 日本神経化学会 老化促進モデルマウス研究協議会 日本ポリフェノール学会 日本酸化ストレス学会		現在に至る 以下同じ	評議委員 理事・評議委員 評議委員 評議員 理事 評議委員

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	教授 國眼眞理子				
1 専門分野、研究テーマ	教育心理学、青年心理学、キャリア心理学				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概要
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 「常に新たな展望を求めて」	共著	2012	「青年心理学研究」 第24巻 第1号 (日本青年心理学会)	p. 1-4	我が国の教育心理学および青年心理学に発展に多大なる貢献をした藤原喜悦氏の業績と研究レビューである。日本青年心理学会より依頼され執筆。
7 学会発表 ①「キャリア発達・教育に関する研究(X I) —PAC分析を用いたキャリア・ガイダンスの試み—」	共著	2012	日本教育心理学会 第54回総会 発表論文集	p. 303	大学生のキャリア選択の要件が就職活動によっていかなる変容をするのかをPAC分析の手法で明らかにした。
②「キャリア発達・教育に関する研究(X II) —実習を通じて形成される職業意識について—」	共著	2012	日本教育心理学会 第54回総会 発表論文集	p. 304	医療系専門学校における実習が、学生の職業意識の形成にいかなる影響を及ぼしているのかを明らかにした。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 1) 「ぼく、できるもん」 2) 「絵本の思い出」 3) 「痛いよう・・・」 4) 「やりたいことの種」 5) 「子どもがかわいいと思えない」 6) 「一緒に遊んで子育てを楽しもう」	単著	平成24年10月(2012)～平成25年3月(2013)	「私の街さかた」 酒田市広報誌コラム 『酒田っ子すくすく』	600字/回	自分にとって大切なひとという鏡に映った自分を見て、自分のイメージを形づくっていく 一緒に絵本を囲んだ思い出は、家族との温もりのある記憶に 泣くことをやめさせるより、そのときの気持ちを言葉にしてあげよう。気持ちと言葉の架け橋を 将来のやりたいことの種は、幼児期からの経験の積み重ねから 子育てを共有できる人がいてこそ生まれる心のゆとり 父親が子育てに協力的だと育児不安低減し、子どもは自分を大切にしてくれる実感を抱く

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
1. 酒田市立第4中学校学校評議員会	酒田市教育委員会	H24年4月～H25年3月	評議員
2. 酒田っ子すくすく育成会議	酒田市	H24年4月～H25年3月	委員
3. 酒田市スクール・カウンセラー	酒田市教育委員会	H24年4月～H25年3月	スクールカウンセラー
4. 田川地区高校再編検討委員会	山形県教育庁	H23年8月～H25年2月	委員長
②その他			
<学会関係>			
1. 日本キャリア教育学会		H22年11月～現在	理事
<教育機関関係>			
1. 酒田市立看護専門学校	講義 (「人間関係論」)	H24年4月～9月	非常勤講師
2. 酒田市立泉小学校	PTA 研修会	H24年4月21日	講師
3. 酒田市立第一中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H24年6月5日	講師
4. 酒田市立鳥海八幡中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H24年6月13日,21日	講師
5. 山形県立鶴岡南高等学校	キャリア講演会	H24年6月10日	講師
6. 鶴岡市立朝暘第4小学校	PTA 研修会	H24年6月30日	講師
7. 弘前福祉大学	教職員研修会	H24年7月10日	講師
8. 酒田市立松山中学校	酒田市教育実践支援プログラム	①H24年9月21日 ②H24年9月28日 ③H25年2月1日 ④H25年2月22日	助言者
9. 酒田市立宮野浦小学校	家庭教育セミナー	H24年10月12日	講師
10. 山形県高等学校初任者研修	山形県教育センター (キャリア教育)	H24年10月17日	講師
11. 山形県立新庄北高等学校	保健講話	H24年9月20日	講師
12. 庄内町立余目中学校	PTA 研修会	H24年10月6日	講師
13. 酒田市立第4中学校	PTA 文化講演会	H24年11月27日	講師
14. 山形県立新庄神室高等学校	キャリア教育研修	H25年1月23日	講師
15. 山形県立楯岡高等学校	キャリア教育	H25年2月19日	講師

＜教育委員会・教育センターなど＞			
1. 酒田市不登校保護者会 (年3回)		①H24年6月7日 ②H24年10月4日 ③H24年1月24日	助言者
2. 酒田市教育研究所	特別活動研究部会研修	H24年8月3日	講師
＜その他の教育機関・施設＞			
1. 酒田市中央公民館 「いきいきママちゃん講座」	思春期の子をもつ保護者 研修	H24年6月9日,9月1日	講師
2. 庄内地域若者サポートステーション (キャリア講座)	キャリア教育	①H24年7月25日 ,8月1日 ②H24年10月26日 ,11月2日 ③H25年2月5日、6日	講師
3. 庄内地域若者サポートステーション	事例検討会	H24年6月22日	講師
4. 幼保小指導者研修会		H24年11月29日	講師
5. 日本 PTA 全国協議会東北ブロック研究大会		H24年9月8日	コーディネーター
6. 飽海地区高等学校 PTA 協議会 研修会	キャリア教育	H24年10月19日	講師
7. 女性のための学び講座	リーダーシップ研修	H24年9月29日	講師
8. 庄内総合支庁	公益教育セミナー	H24年11月30日	講師
9. 小鳩保育園	子育て研修会	H25年1月26日	講師
10. 市町村家庭児童相談担当者研修会		H25年3月8日	講師
＜看護・福祉関係＞			
1. 国立精神・神経センター 武蔵病院	リーダーシップ研修	H24年5月21日	講師
2. 秋田県看護協会	一般教育研修	H24年7月7日	講師
3. 国立病院機構水戸医療センター	リーダーシップ研修	H24年6月4日	講師
4. 国立国際医療センター 国府台病院	リーダーシップ研修	H24年11月19日	講師

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	教 授 照 井 孫 久				
1 専門分野、研究テーマ	社会福祉評価論				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
(著書) 『人間関係とコミュニケーション』	共著	2013年	ミネルヴァ書房	pp99 ～147	「第6章 介護の職場とコミュニケーション」では、ケアの現場で行われている職員と利用者、職員と利用者家族及び地域住民、職員同士といったそれぞれのカテゴリー毎のコミュニケーションの課題を取り上げ、「第7章 介護職とOJT」では、ケアワーカーの職場研修の方法と課題について取り上げると共に、それぞれの課題への対応方法についての検討を行った。
(研究ノート) 「一人暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する一考察」	共著	2012年	東北公益文科大学 総合研究論集	pp146 ～153	地域福祉を組織化し、地域ケアの質を高めていく上での重要な資源となりうる可能性を秘めた酒田市の福祉協力員における業務実態と課題の分析を行った。その結果研修体制の整備とネットワークの形成が急務であることが明らかになっている。
「看護・介護における”ケア”と”正義”のジレンマ」	単著	2012年	共生と修復	pp24～27	ギリガン、キティ、ノージック等によるケアの倫理とロールズに代表される正義の倫理との対比を行うとともに、看護やケアの現場における倫理的なジレンマに対処するための実践的な方法論の可能性について論じた。
(学会発表) 「日常のケアを研究的視点で捉える」		2013年	東北認知症ケア学会	資料7ページ	介護の現場におけるケアの質向上のための研究的な方法論を用いた取り組みの事例検討、及びケアの現場において研究的な手法を活用していくうえでの課題について考察。

(その他) —研究調査報告書— 平成 24 年度酒田市大学まちづくり政策形成事業「酒田市におけるひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する調査研究—福祉協力員、学区・地区社会福祉協議会を中心に—」	共著	2013 年	酒田市	pp15～27	酒田市社会福祉協議会より委嘱を受けている「福祉協力員」509 名に対するアンケート調査を行い、福祉協力員業務の現状と課題についての分析を行った。その結果、見守り活動に必要な知識・技術を共有するための研修の機会、ネットワークの必要性が明らかになっている。
介護支援専門員におけるスーパービジョンに関するアンケート調査報告書	共著	2013 年	平成 23 年度公益財団法人みずほ福祉助成財団研究報告書	pp27～64	岩手県内の介護支援専門員に対するアンケート調査を実施し、介護支援専門員に対するスーパービジョンにおける現状と課題の分析を行った。
—その他— 2012 年度、全国福祉教育セミナー「社会福祉専門教育の実践的な課題」報告書	共著	2012 年	日本社会福祉教育学校連盟	pp74～75	平成 24 年度の社会福祉士の質の向上に資するコアカリキュラムに関する調査研究の実施方法についての説明。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
—県・市町村の委員会— 山形市成年後見制度利用者支援検討会座長	山形市成年後見制度利用者支援検討会	2012 年度	座長
酒田市介護保険運営協議会委員	酒田市介護保険運営協議会	2012 年度	委員
—その他— 日本認知症ケア学会東北地域部会委員	日本認知症ケア学会東北地域部会	2012 年度	委員
山形県福祉人材センター運営委員会委員	山形県社会福祉協議会、山形県福祉人材センター運営委員会	2012 年度	委員
「知の拠点庄内」ワークショップ委員	「知の拠点庄内」ワークショップ委員会	2012 年度	委員
日本社会福祉教育学校連盟社会福祉教育委員会 WG 委員	日本社会福祉教育学校連盟社会福祉教育委員会	2012 年度	WG 委員
NPO いわたの保健福祉支援研究会理事	NPO いわたの保健福祉支援研究会	2012 年度	研究委員

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 高谷時彦				
1 専門分野、研究テーマ	建築・都市デザイン				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『アーバンデザインセンター― 開かれたまちづくりの場―』	共	2012.9	理工図書	Pp115-118	大学の地域貢献の場としてのアーバンデザインセンターの活動内容や考え方を論述した。
3 学術論文受賞作品 鶴岡まちなかキネマ	単	2013	日本建築学会 2013 作品選奨		日本建築学会の作品選奨 12点のひとつに選定された。
鶴岡まちなかキネマ	単	2013	日本建築学会作品選 集		日本建築学会の作品選集 に選定された。
庄内まちなか温泉	単	2012	庄内町まちなか温泉 設計者選定最優秀賞		最優秀賞に選定された。
吹浦防災センター	単	2013	遊佐町吹浦防災セン ター選定最優秀案		最優秀暗に選定された。
4 研究ノート 「旧イチローヂ商店の建築的価 値について」	単	2013	公益総合研究センタ ー		内川学4 報告書所収。
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 「しあわせな建築 鶴岡ま ちなかキネマ」 ② 研究調査報告書 ③ 講演 「まち・人・くらしー地域風 景の創造ー」 「恵比寿屋と上野宝丹ー建築と 薬の二都物語ー」 連続講座内川学IV 基調講演 「旧イチローヂ商店とその時 代」	単	2013.1 2012.5 2013.1 2013.2	ロングライフビル推 進協会 BELCA VIEWS 142 武蔵府中地域デザ イン学校・府中建 築文化フォーラム 東北公益文科大学公 益総合研究センター +鶴岡市食文化産業 創造センター 東北公益文科大学公 益総合研究センター +イチローヂ・ま ち・かわプロジェクト協議会	pp45-49	BELCA 賞受賞作品である鶴 岡まちなかキネマの解説。 武蔵府中地域デザイン学 校での講演。 鶴岡市食文化産業創造セ ンターとの共催イベント での講演。 山形県新しい公共の場作 りモデル事業の助成によ る活動報告界での基調講 演。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	鶴岡市景観審議会 鶴岡市住生活基本協議会 つるおか住宅選定委員会 酒田市重要文化的景観委員会 鶴岡市創造文化都市食文化委員会 山形県都市計画審議会 鶴岡市文化会館設計者選定委員会	H24年3月～H25年3月	委員 委員長 委員長 委員 委員 委員 委員
② その他	庄内価値開発研究会 鶴岡市食文化産業創造センターWG 墨田区おしなり商店街リニューアルコンペ選定委員会	H24年3月～H25年3月	座長 座長 委員

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 伊藤真知子				
1 専門分野、研究テーマ	社会学・女性学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
3 学術論文 『地域共創の学びと活動』の評 価・検証の試みー公益社会演習 (とび魚だし) を事例に」	共	H24年7月25 日	『東北公益文科大学 総合研究論集第22 号』	25-49頁	農商工連携事業「とび魚だ しプロジェクト」の一環と して、平成22年から3年 間にわたり実施した公益 社会演習(とび魚だし)の 成果について、学生の成 長、教育の観点からの成果 を中心に、事業・地域の観 点からの評価を加え、検討 した。
『あらた』の25年をふりかえ る」	単	H24年6月23 日	『今、ここで、新し く 記念研究誌～特 定非営利活動法人あ らた創立25周年・株 式会社未来創造館5 周年・世代交流館あ らた竣工～』	8-15頁	NPO法人あらたの25年間 の活動の歩みをふりかえ り、各事業の発展を跡づ け、それらの社会的な意義 を明らかにするとともに、 課題を考察した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書	共	H25年3月	『酒田市離島振興計 画策定基礎調査書』	1-95頁	離島振興計画策定にむけ た酒田市からの委託研究 (メンバー: 呉尚浩、澤邊 みさ子、小関久恵、岸本誠 司)の報告として、飛島島 民・帰省者・来島者を対象 に実施したアンケート調 査の集計・分析結果をまと めた。
	共	H25年3月	酒田市・大学まちづ くり政策形成事業『 「とびしま未来プロ ジェクト事業」報告 書』とびしま未来研 究会	128-135 頁 (共 著)	酒田市からの委託研究(受 託: とびしま未来研究会) により実施した飛島にお ける調査研究の成果にも づいて、離島振興推進ア クションプランをまとめた。
③ その他 「いま地域づくりに大切な ことー飛島の試みを事例に ー」	共	H25年3月	『平成24年度東北 公益文科大学 Evening 公益カフェ 講義レポート』	18-21頁	H24年12月18日Evening 公益カフェにおいて呉尚 浩と分担して実施した講 義を収録した。
県内女性町内会(自治会) 長・PTA会長事例集の分担執 筆および全体監修	単	H25年3月	『県内女性町内会 (自治会)長・PTA 会長事例集 女性	24-29頁	地域課題に取り組むため に今後必要な女性の力とは どのようなものかを解説

			の力で地域を元気に！』山形県		し、町内会の男女共同参画の進め方について執筆するとともに、町内会用および個人用の男女共同参画度チェックシートを作成した。
--	--	--	----------------	--	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県男女共同参画審議会 山形県総合政策審議会 山形県高齢者虐待防止県民会議 酒田市公益活動推進委員会 酒田市介護保険運営協議会 庄内町男女共同参画社会推進アドバイザー 庄内町情報発信研究所	H24年12月28日～H26年10月31日 H23年4月30日～H25年4月29日 H23年11月～H25年3月 H22年6月～H24年5月 H21年6月25日～H24年6月24日 H24年4月～H25年3月 H24年4月～H25年3月	会長 委員 副会長 会長 委員 アドバイザー 特別研究員
② その他 <委員等>	山形地方労働審議会 酒田市立酒田看護専門学校 特別非営利活動法人あらた 社会福祉法人光風会 生涯学習施設「里仁館」 生涯学習施設「里仁館」運営委員会 みやぎ・やまがた女性交流機構 庄内地域子育て応援協議会 第62次教育研究山形県集会14分科会	H23年10月～H25年9月 H24年4月5日～7月19日 H20年4月～ H24年7月30日～H26年7月29日 H24年4月1日～H26年3月31日 H24年4月1日～H26年3月31日 H21年8月～ H21年7月～ H24年6月11日～11月10日	会長 非常勤講師「家族関係論」 理事 理事 常任理事 委員長 理事 会長 研究協力者
<講演等>	三川町教育委員会 婦人会若妻会講演会 第30回山形県交通安全母の会大会記念講演 女性のための学び講座「椿ぜみなーる」 市民大学出前講座 地域における男女共同参画推進事業 山形県立農業大学校地域連携・貢献活動中間発表会 基調講演 新庄市健康福祉推進員研修講演 鶴岡田川鍼灸マッサージ師会研修会 講演 山形大学男女共同参画シンポジウム 幼児共育フォーラム 講演 平成24年度子育て支援者育成講座 子育て支援シンポジウム in 庄内 ステキ女子になろう！講座 講演 医療法人宏友会 講演会 庄内傘福研究会 公開シンポジウム	H24年6月18日 H24年7月23日 H24年8月18日 H24年8月24日 H24年8月29日、10月1日、10月20日 H24年10月24日 H24年11月5日 H24年11月11日 H24年11月19日 H24年11月20日 H24年11月23日 H24年12月1日 H25年1月30日 H25年3月2日	講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 コーディネーター 講師 コーディネーター 講師 講師 コーディネーター

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	教授 遠山茂樹				
1 専門分野、研究テーマ	イギリス中世史 中世イングランドにおけるフォレスト				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概要
2 著書『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) フォレスト犯罪の諸相ーフェクナム・フォレストの裁判記録よりー(査読あり)	単著	平成25年2月(2013年)	『駿台史学』第147号	71-99頁	13世紀フェクナム・フォレスト犯罪の具体的様相をさぐり、フォレスト法の運用とその実効性について考察してみた。また、15世紀末～16世紀初頭にかけての同フォレストのスウォニモウト記録を素材として、スウォニモウトの機能をさぐり、それが13世紀のスウォニモウトと異なる性格のものであることを明らかにした。
4 研究ノート ロビン・フッド研究の一動向(査読なし)	単著	平成24年7月(2012年)	『東北公益文科大学総合研究論集』第22号	1-48頁	従来のロビン・フッド研究をふりかえりながら、主要な研究者の論点をさぐり、近年のロビン・フッドをめぐる研究動向の一端をさぐってみた。
5 資(史)料(名称)					
6 翻訳(名称)					
7 学会発表(名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市景観審議会	H24年4月～H25年3月	会長
② その他	鶴岡中央高等学校評議委員会	H24年4月～H25年3月	委員
	鶴岡中央高等学校学校関係者評価委員会	H24年4月～H25年3月	委員
	酒田市美術館理事	H25年4月～H25年3月	理事

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	三原 容子				
1 専門分野、研究テーマ	日本近代史 (思想、運動、教育)				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別)					
4 研究ノート 「酒田の人・森藤右衛門の事績 について」	単	2012年7月	『東北公益文科大学総合研究論集』第22号	195-211	ワッパ騒動指導者で自由民権家の森藤右衛門の顕彰活動が2011年夏から始まり、協力する中で、学術的な刊行物の必要性が痛感された。そこで、森についての生涯の紹介に加え、既に刊行されている史料の紹介、今後の検証の方向をまとめた。(別途印刷して森藤右衛門顕彰碑建立への寄付者全員に配付された。)
5 資(史)料 「(資料紹介) 山形県立自治講習所(第三回目) 大正八年～大正九年」	単	2013年1月	『東北公益文科大学総合研究論集』第23号	(1)-(90)	上山明新館高校所蔵の山形県自治講習所関係資料(筆と墨で書かれた文書)を判読したもの。第三回目として、第四期生「日誌」、第三回短期講習生「日誌簿」、第五回長期講習会「日誌」の三史料の全文を活字にした。
6 翻訳					
7 学会発表					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 「(書評) 保阪正康『農村青年社事件』」	単	2012年10月	『トスキナア』第16号	104-106	依頼を受けて書いた原稿である。戦前のアナキズム運動の一つの山である「農村青年社」の運動の真相について、保阪氏が追跡してきた連載をまとめた単行本について、かつて研究テーマの一つとしていた筆者の立場から書評した。

森藤右衛門顕彰碑碑文	単	2012年9月	酒田市横道町児童公園内「森藤右衛門顕彰碑」		200 数十文字の短い文章であるが、森藤右衛門の生涯と事績を凝縮していること、相当の時間をかけて練ったこと、100年後までも人目につくことから、業績として挙げておく。
「(「私と読書」リレーエッセー149) もっと若者に本を読んでもらうために」	単	2013年3月23日	『荘内日報』	5	これも依頼を受けて書いた原稿である。「私と読書」というタイトルで書く機会を与えられたので、大学生に本を読んでもらうためにはどうしたらよいかというテーマで書いた。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	<ul style="list-style-type: none"> 酒田市教育委員会 山形県屋外広告物審議会 	H24年4月～H25年11月 H23年10月～H25年9月	教育委員 (職務は月に1～10回) 委員 (再任)
② その他	<ul style="list-style-type: none"> ワッパ騒動顕彰会 森藤右衛門を顕彰する会 酒田経営同友会例会 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟酒田支部総会 東北学院大学キリスト教文化研究所 第19回全山退教総会 藤島・ワッパ騒動義民顕彰板設置二周年記念の集い 酒田光陵高校「公益と産業社会」 鶴岡市民大学講座 山形県企業局「酒田工業用水道50周年」 	H19年9月～現在 H24年3月28日～現在 H24年4月14日 H24年7月7日 H24年7月14日 H24年8月23日 H24年8月28日 H24年9月4日 H24年11月10日 H25年3月15日	呼びかけ人、現在はWilliam W. Kell 氏の”Deference and Defiance”の邦訳書刊行に向けて、毎月一回、研究会を開催中。 顧問 (現在報告書発行に向けて準備中) 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 前年度3月28日に正式に発足した森藤右衛門顕彰会であるが、その後、現職・元職首長を初めとする多くの方々浄罪をいただき、無事に9月16日に顕彰碑除幕式を挙行了。三原が碑文の撰文を担当、また、配付資料への協力等を行なった。各紙の記事に「東北公益文科大学」の名が載った。
(特記) 森藤右衛門顕彰活動と「公益大」のパブリシティ			

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	教授 水田健輔				
1 専門分野、研究テーマ	公会計、高等教育財政、公的部門の経営				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概要
2 著書 なし					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別)					
1 A comparative study of the impact of alternative government policy approaches on management accounting practices in English and Japanese Universities post 2008 (査読無)	共著	2012年9月	Proceedings of the 7th International Conference on Accounting, Auditing & Management in Public Sector Reforms	17頁	共著者：Margaret Woods, Kensuke Mizuta 概要 日英の大学に対して政策的に導入された管理会計の取り組みについて、その手法的類似性と政策目的・導入方法・普及の差異を分析した。具体的には、組織理論および理論的政策分類を手がかりに、両国の取り組みを比較し、財源配分をリンクさせたインセンティブ・システムの有無が両国の取り組みの進展に影響したことを示した。
2 高等教育財政支出の決定要因－政治的要因の直接性と間接性 (査読無)	単著	2012年10月	『日本教育行政学会年報』第38号 (日本教育行政学会)	P148～151	概要 日本、英国、米国における、過去の高等教育財政支出について、その増減の要因を政治的直接要因、政治の間接要因、行政的継続要因に分けて実証分析を行った。
4 研究ノート					
1 Management Accounting Practices in Japanese National Universities - Their Utility as Policy Instruments	単著	2013年1月	『東北公益文科大学総合研究論集』第23号 (東北公益文科大学)	P69～80	概要 日本の国立大学が2004年の法人化後に試みた2つの管理会計的取り組み (附属病院人件費計算における臨床系教員等の人件費の配賦計算・管理業務における活動基準原価計算の導入) の内容を紹介し、その顛末と理論的説明を行った。
5 資(史)料 なし					
6 翻訳 なし					
7 学会発表					
1 国立大学法人の財務と経営－現状	共同	2012年6月3日	日本高等教育学会第15		共同発表者 金子元久、丸山

<p>と課題一</p> <p>2 A comparative study of the impact of alternative government policy approaches on management accounting practices in English and Japanese Universities post 2008</p> <p>3 NZ カンタベリー大地震の復興財源措置と日本への示唆ークライストチャーチ市の視点からー</p>	<p>共同</p> <p>単独</p>	<p>2012年9月6日</p> <p>2012年9月29日</p>	<p>回大会（会場：東京大学）</p> <p>The 7th International Conference on Accounting, Auditing & Management in Public Sector Reforms (EIASM), held at Bocconi University of Commerce, Milan, Italy.</p> <p>日本地方自治研究学会第29回大会（会場：日本大学）</p>	<p></p> <p>P29～34</p>	<p>文裕、水田健輔</p> <p>概要 2011年度に実施した、国立大学の財務担当理事および財務担当幹部職員を対象としたアンケートの分析結果をもとに、国立大学の財務管理の変化を発表した。概して、予算編成時における部局等の発言力が高くなっているにもかかわらず、予算の帰属先は本部に集中しつつあるなどを指摘した。</p> <p>共同発表者 Margaret Woods, <u>Kensuke Mizuta</u></p> <p>概要 日英の大学に対して政策的に導入された管理会計の取り組みについて、その手法的類似性と政策目的・導入方法・普及の差異を分析した。具体的には、組織理論および理論的政策分類を手がかりに、両国の取り組みを比較し、財源配分をリンクさせたインセンティブ・システムの有無が両国の取り組みの進展に影響したことを示した。</p> <p>概要 ニュージーランドの中央政府および地方政府の財政規律を紹介し、その特徴を検証するとともに、2012年2月に起きたカンタベリー大地震後のクライストチャーチ市復興施策にかかる財源措置の詳細を分析・検討し、日本に対する示唆をまとめた。2011年度の研究論文について、クライストチャーチ市の復興の進展に焦点を絞り、最新データを加味して、再構成した内容。</p>
<p>8 その他</p> <p>① 専門誌</p> <p>1 財務面から見た国立大学法人のガバナンスの変化</p>	<p>単著</p>	<p>2012年11月1日</p>	<p>IDE 現代の高等教育（IDE 大学協会）、2012年11月号、第545号</p>	<p></p>	<p>概要 2011年度に実施した全国立大学に対する財務管理面のアンケート調査結果をもとに、内部のガバナンスがより集権的に変化している点、および法人化後に新たに加わった財務管理上の活動に対して、いまだに満足できる状</p>

② 研究調査報告書	1 平成24年度版 国立大学の財務	単著	2013年3月	独立行政法人国立大学財務・経営センター（施設費貸付・交付事業に係る各種調査の指導助言の一環）	全体頁数：73頁	態になっていないことを指摘した。 概要 全 86 国立大学の2011 年度決算財務データを分析し、まとめたもの。
	2 「黒龍江省におけるサービス産業（高齢者福祉サービス）に関する市場環境および消費者動向等調査」報告書 ※他に資料編（253頁）あり	共著	2013年3月	山形県委託事業（2012年度東アジア交流促進事業）	全体頁数：141頁	共著者：水田健輔、呉衛峰、鎌田剛、尾身祐介、陳激、邱イアン 概要 黒龍江省の高齢者福祉サービス事業の現状を明らかにし、山形県内企業の市場参入の可能性を検討した。
③ その他	1 地方財政状況 見誤るな	単著	2012年6月27日	山形新聞7面『提言』		概要 全国的に地方自治体単独の財政状況は好転しているように見られるが、地方財政計画にさかのぼり、国の会計と一体で見ると、赤字額が拡がり、将来世代の負担が増加していることを指摘した。

9 社会貢献	委員会等名称	年限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会			
② その他	1 広島大学高等教育研究開発センター	H24年4月～継続中	客員教授
	2 大学共同利用機関法人人間文化研究機構評価委員会	H23年6月～継続中	委員
	3 社団法人日本私立大学連盟インテリジェンスセンター「広報・情報部門会議（調査）」	H23年9月～継続中	委員
	4 経済産業研究所「財政的な統一視点からみた教育財政ガバナンス・システムの構築」プロジェクト	H23年11月～継続中	研究メンバー
	5 酒田市行財政集中改革プラン推進委員会研修会	H24年11月16日	講師

	6 秋田県自治研修所「公会 計研修」	H24年11月29-30日	講師
	7 香川県自治研修所「公会 計研修」	H24年12月6-7日	講師

東北公益文科大学

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 温井 亨				
1 専門分野、研究テーマ					
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
● 地方の中心商店街と中山間地域の風景～暮しの風景とは何か、現状と今後～（「風景の思想」第5章）	単著	2012年	学芸出版社	15	東京大学における連続シンポジウムをもとに12人で書き下ろした書籍
● 津波の記憶の継承（「復興の風景像」1-6）	単著	2012年	マルモ出版	4	日本造園学会の東日本大震災復興支援調査委員会が編集した書籍
3 学術論文					
● 山形県上山市における中心市街地再生に向けた協働のまちづくり	単著	2012年	日本造園学会	6	大会発表論文（査読付き）
4 研究ノート					
5 資（史）料					
6 翻訳					
7 学会発表					
● 山形県上山市における中心市街地再生に向けた協働のまちづくり	単独	2012年	日本造園学会全国大会		
8 その他					
① 専門誌 平成24年度東北支部活動報告	単著	2013年	日本造園学会「ランドスケープ研究」Vol. 76、No. 4	2	
② 研究調査報告書					
③ その他					
● 庄内町地域活性化アドバイザー報告書（平成24年度）	単著	2013年	温井亨		温井が庄内町に提出した報告書
● 庄内町地域活性化アドバイザー報告書（平成22～24年度の総括）	単著	2013年	温井亨		温井が庄内町に提出した報告書
● 酒田市まちづくり人材育成強化事業報告書	単著	2013年	東北公益文科大学		受託研究報告書

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	● 山形県まちづくり連携会議	H22年6月～	メンバー
	● 馬見ヶ崎川宝の川づくり計画策定検討会（村山総合支庁）	H23年9月～H25年3月	座長
	● 庄内町中心市街地まちづくり協議会	H23年8月～	庄内町地域活性化アドバイザー
	● 庄内町振興審議会	H24年2月～H26年1月	会長
	● 温泉施設整備事業基本設計業務公募型プロポーザル選定委員会	H24年7月～9月	委員長
	● 酒田市中心市街地まちづくり協議会	H24年8月～	受託者

	<ul style="list-style-type: none"> ●酒田市中心市街地活性化協議会 ●東松島市特別名勝松島保存管理検討委員会 ●上山市十日町地区景観・まちづくり協議会 	<p>H25年2月～ H24年7月1日～H26年6月30日 H20年～</p>	<p>委員 委員 幹事</p>
② その他	<ul style="list-style-type: none"> ●庄内町地域活性化アドバイザー ●上山市まちづくりアドバイザー ●山形県立庄内総合高等学校学校評議員 ●山形県立庄内総合高等学校学校関係者評価委員 ●農水省東北農政局豊かなむらづくり審査会 ●国交省東北地方整備局酒田河川国道事務所日本海沿岸東北自動車道（酒田みなと～遊佐）事業 ●日本造園学会東北支部 ●日本造園学会ランドスケープ遺産イベントリー作成委員会 ●日本造園学会ランドスケープ研究校閲委員 ●日本造園学会東日本大震災復興支援調査委員会 ●庄内銀行庄内価値開発研究会 ●月山恵みの里庄内交流推進協議会 ●庄内町なしたって水曜会 ●鶴岡市藤島都市計画マスタープラン見直しワークショップ ●NPO 法人東北カモンカセンター 	<p>H23年5月～H25年3月 H23年4月～H25年3月 H24年5月～H25年5月 H24年5月～H25年5月 H21年5月～H25年3月 H23年11月～ H23年10月～ H23年11月～H25年5月 H24年10月～H25年3月 H23年11月～H24年5月 H23年9月～ H23年9月～ H23年11月～H24年11月 H24年11月～H25年3月 H17年7月～</p>	<p>アドバイザー アドバイザー 評議員 学校関係者評価委員 委員 事業景観アドバイザー 支部長 委員 校閲委員 幹事 メンバー アドバイザー 主催者 アドバイザー 理事</p>

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 阿部公一				
1 専門分野、研究テーマ	社会保障、特に公的年金に関する政策史				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 (名称)					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称) 「企業における退職金と厚生 年金の関係―戦後復興期から 高度経済成長の初期において ―」(査読なし)	単著	平成 24 年 7 月	『東北公益文科大学 総合研究論集』第 8号	A5, 149 ～162 頁	本稿では、戦後復興期から高度経済成長の初期までを対象期間として、企業における退職金と厚生年金の関係を考察することにより、日本経営者団体連盟が、厚生年金の負担増加や給付改善に対し、抵抗し続けた背景や理由を明らかにしている。特に、本稿では、退職積立金及退職手当法の統合廃止、老齢年金の貧弱な給付水準、退職一時金の年金化などから、退職金と厚生年金の関係を考察している。
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 「1965 年改正以降の老齢年金 における給付水準引上げの誘 因―労使間の対立軸の視点か ら―」	単	平成 24 年 10 月 25 日	日本年金学会第 32 回総会・研究発表会 (於 全国情報サー ビス産業厚生年金 基金会館)		老齢年金における 1965 年改正以降の大幅な給付改善は、高度経済成長を理由としているものの、明らかに呼び水的な誘因となる事柄があった。本発表では、厚生年金の政策形成過程における労使間の対立軸に視点をおくことにより、給付水準引上げの誘因を実証した。自由論題部門にて発表。コメントーターは、筑波大学大学院の江口隆裕教授。

8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書					
③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市公民館運営審議会	平成13年6月～平成25年5月	副委員長
② その他 「公的年金の財源は誰が負担すべきなのか？」	平成24年度 東北公益文科大学 Evening 公益カフェ	平成25年1月29日 第13回、鶴岡会場	講師

東北公益文科大学

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 和田明子				
1 専門分野、研究テーマ	行政学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『「小さな大国」ニュージーランドの教えるもの』	共著	2012年7月	論創社	pp. 43-59	「選挙制度の公正性ー「制度の決定方法」と「一票の格差」の問題からー」の項を執筆
3 学術論文（査読無し） ニュージーランド・カンタベリー地震の復興行政に対する公的部門改革の影響	単著	2012年5月	2012年度日本行政学会研究会分科会B報告ペーパー		ニュージーランドの1980年代以降の公的部門改革がクライストチャーチ市の復興行政に与えている影響を分析
4 研究ノート カンタベリー地震の復興行政と公的部門改革～2012年の動向を中心に～	単著	2013年3月	『ニュージーランド・ノート』第15号		発災から2年目にあたる2012年の復興行政の経過を整理するとともに、復興行政に公的部門改革が与えた影響をニュージーランド政府自身が認識していることを紹介。
5 資(史)料					
6 翻訳					
7 学会発表 ニュージーランド・カンタベリー地震の復興行政に対する公的部門改革の影響	単独発表	2012年5月	2012年度日本行政学会研究会分科会B		ニュージーランドの1980年代以降の公的部門改革がクライストチャーチ市の復興行政に与えている影響を分析
カンタベリー地震の復興行政に対する公的部門改革の影響	単独発表	2012年10月	日本ニュージーランド学会合同研究会		復興行政に対する公的部門改革の影響を「組織横断的連携」「住民協議手続」の2点から検証
8 その他 ③ その他（公開シンポジウムでの発表） ニュージーランド・カンタベリー地震の復興行政から学べること（中間報告）	単独発表	2013年3月	東北公益文科大学公益総合研究センター主催「東日本大震災・復興を考える」		カンタベリー地震の復興行政から日本が学べる点を整理

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	内閣府官民競争入札等 監理委員会	H20年5月～現在	専門委員
	総務省東北管区行政評 価局政策評価懇談会	H17年6月～現在	委員
	総務省東北管区行政評 価局山形行政評価事務 所行政懇談会	H17年2月～現在	委員
	山形県防災会議	H25年2月～現在	委員
	山形県政府調達苦情検 討委員会	H22年6月～現在	委員
	山形県明るい選挙推進 協議会	H20年5月～現在	委員
	酒田市行財政集中改革 プラン推進委員会	H14年7月～現在	委員
	酒田市教育委員会事務 の管理及び執行状況に 係る点検及び評価	H21年8月～現在	外部評価者
	酒田市情報公開・個人情 報保護審査会	H22年1月～現在	委員
	酒田市総合計画審議会	H23年12月～H24年7 月	文教部会長 行財政部会副部会長
	新庄市行政評価アドバ イザー	H22年9月～現在	アドバイザー
	庄内町行政改革推進委 員会	H17年12月～現在	委員
北上市政策評価委員会	H23年8月～現在	委員	
(財)土門拳記念館情報 公開審査会	H22年7月7日～現在	委員	
② その他	山形大学人文学部非常 勤講師 ・ 公共政策特殊講義	H24年4月～H24年9月	

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	呉 尚浩				
1 専門分野、研究テーマ	公益学、環境社会学、地域づくり論、中山間・離島地域論、森林政策学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 「地域共創の学びと活動」の評価・検証の試みー公益社会演習(とび魚だし)を事例に	共(伊藤眞知子、呉尚浩)	2012年7月	『東北公益文科大学総合研究論集』(東北公益文科大学)第22号、pp.25-49	pp.41-46	本学の授業である公益社会演習(とび魚だし)の3年間にわたる教育と実践の成果、地域へ与えた影響を評価・検証した。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他					
① 専門誌 『しまCafé』が紡ぐ、新たな島つくりの夢ー『とびしま未来協議会』による内発的地域づくりへの挑戦ー(巻頭言)	単	2013年1月	『東北公益文科大学総合研究論集』(東北公益文科大学)第23号、p.i-ii	p.i-ii	飛島において、とびしま未来協議会の発足により「しまCafé」のオープンなど若者が島に賑わいを創出している姿、住民主体の離島振興計画づくりなどをレポート。
② 研究調査報告書 ・『とびしま未来プロジェクト事業報告書(平成24年度大学まちづくり地域政策形成事業報告書、酒田市)』	共	2013年3月	とびしま未来研究会(呉尚浩、伊藤眞知子、澤邊みさ子、岸本誠司、小関久恵)	右参照	総頁数:168頁 はじめに、調査研究・事業実施の概要(pp.2-10)、2-5.第六回三島交流会 in 粟島開催報告、2-6.先進地調査報告:沖縄県・伊是名島「しまあかり」モニターツアー(pp.98-110)、第三部離島振興推進アクションプランの提案(pp.111-131)
・『離島振興計画策定基礎調査報告書(酒田市受託研究)』(呉尚浩、伊藤眞知子、澤邊みさ子、小関久恵、岸本誠司)	共	2013年3月	呉尚浩、伊藤眞知子、澤邊みさ子、小関久恵、岸本誠司	右参照	総頁数:257頁 2013年度策定の山形県(飛島)離島振興計画策定のための基礎調査。アンケートおよびヒアリング、座談会記録など。

② 小冊子 「飛島の『海ごみ問題』と『地域づくり』事例から公益社会の実現を考える」 「いま地域づくりに大切なこと-飛島の試みを事例に-」	単	2012年3月	『私の公益ノートⅡ』東北公益文科大学	pp. 22-23	飛島の「海ごみ問題」と「地域づくり」事例から、公益社会の実現を考える。
	共(伊藤眞知子・呉尚浩)	2013年3月	『平成24年度東北公益文科大学・Evening 公益カフェ講義レポート』(鶴岡市雇用創出基金事業・公益活動ネットワーク形成推進事業委託業務配付資料)、pp. 18-21	pp. 19-21	「Evening 公益カフェ」第5回・鶴岡会場における記録。とび魚だしプロジェクト、とびしま未来協議会など、飛島における地域づくり活動事例から、いま地域づくりに大切なことを考察する。
③署名記事 ・「報告と提言：離島振興法の改正を受けて・みんなでつくろう離島振興計画」 ・「海ごみ拾いで島の景観再生・飛島クリーンアップ-島民の意識に変化、島おこしへ」 ・「伊是名島の島づくりに想う-観光客から感動客へ」(特集・島づくりと島の観光を考える)	単	2012年12月	『とびしま未来協議会通信』第4号(2012年12月12日号、p. 1-2、p. 4-5)		
	単	2012年12月	『クリスチャン新聞』(12月23日/30日号、環境特集)		
	単	2013年2月	『とびしま未来協議会通信』第6号(2013年2月15日号、p. 1-3)		
④紹介記事 ・「東北公益文科大学准教授・呉尚浩さん(上)飛島で海ごみクリーンアップ作戦」「(下)島民と共に汗流し支えたい」 ・「ひとそのあしあと・今月のひと-東北公益文科大学准教授・呉尚浩さん」 ・「『しまカフェ』、TPPなど研究・公益大呉ゼミ4年生7人が卒業論文公開発表」		2012年11月	『クリスチャン新聞』(11月4日・11日号)		
		2013年1月	『クリスチャン新聞』(福音版・2月1日号)		
		2013年3月	荘内日報(3月23日、第一面)		

9 社会貢献	委員会等名称	年限	職務(委員/委員長等)
① 国の委員会 離島振興基本方針有識者懇談会	国土交通省国土政策局離島振興課	H24年4月～H24年3月	委員
② 県・市町村の委員会 出羽庄内公益の森づくりを考える会		H23年9月～	会長
とびしま未来協議会		H23年5月～	事務局長
山形海区漁業調整委員会		H24年8月～H28年8月	委員

山形県海岸漂着物対策推進協議会		特になし	副会長
遊佐町振興審議会		H24年4月～H25年3月	委員
広野地区農地整備事業推進協議会環境情報部会		H24年3月～H25年3月	委員
③ その他			
NPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会		H23年4月～H25年3月	理事
特定非営利活動法人パートナーシップオフィス		H23年4月～H25年3月	理事
庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会		H24年4月～H25年3月	委員
美しいやまがたの海プラットフォーム		H24年4月～H25年3月	運営委員／協働事務局
平成24年度飛島クリーンアップ実行委員会		H24年3月～H24年5月	実行委員
第5回粟島（新潟県）クリーンアップ実行委員会		H24年4月～H24年6月	島外委員
第8回飛島天保そば・ごどいも収穫祭実行委員会		H24年4月～H24年10月	委員
第5回三島交流会（佐渡・粟島・飛島）実行委員会		H24年4月～H24年11月	委員
<u>（他大学・他校講師）</u> 山形県小国高等学校「地域文化学」		H24年4月～H24年11月	講師（地域情報発信誌”Oguu” NO.5作成）
<u>（その他）</u> アイランダー2011		H24年11月	とびしま未来協議会出展（池袋サンシャインシティ・文化会館／国土交通省離島振興課、（財）日本離島センター主催、教員・学生）
しまっくくりサミット2012		H24年12月	全国離島振興協議会主催

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	准教授 澤邊みさ子				
1 専門分野、研究テーマ	障害者福祉、障害者雇用、社会福祉				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概要
2 著書 『「小さな大国」ニュージーランドの教えるもの』(日本ニュージーランド学会・東北公益文科大学ニュージーランド研究所編)	共	2012年	論創社	pp. 155-170	日本(ならびに世界)が学ぶべきニュージーランドの政策・成果を見ながら、現在の日本について分析し、今後について提言している。「障害当事者とのパートナーシップによる障害者施策推進」(担当章)では、政府と障害セクターとの信頼に基づくパートナーシップが障害者政策に大きな成果を挙げていることについて述べている。
3 学術論文 ※(査読付論文の区別)					
4 研究ノート 「ひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する一考察—酒田市民生委員・児童委員、琢成学区コミュニティ振興会、日向コミュニティ振興会の見守り活動の実態調査より—」(査読無し)	共 (武田真理子・小関久恵・照井孫久・澤邊みさ子)	2012年	東北公益文科大学研究論集 第22号	pp. 139-157	山形県酒田市におけるひとり暮らし高齢者の見守り活動の各担い手の活動内容の実態と、担い手や地域が抱える課題等を、ヒヤリング調査、アンケート調査によって把握することを目的に行った、受託研究「平成23年度酒田市大学まちづくり政策形成事業」の成果を一部をまとめた。
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 『障害百科事典』(Gary L. Albrecht 編/訳:日本特殊教育学会編)	共	2013年	丸善出版		アメリカンライブラリージャーナルのベストレファレンス賞を受賞した“Encyclopedia of Disability”の全訳。全5冊で「障害」の全領域を網羅する一大百科事典。項目「世界的不平等」、「グローバリゼーション」担当。
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ・平成24年度酒田市大学まちづくり政策形成事業「酒田市におけるひとり暮らしの高齢者の見守り活動の担い手に関する調査研究」報告書	共	2013年		pp. 38-56	本調査は、酒田市におけるひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手とその活動内容の実態を把握し、各担い手や地域が抱える課題、各地域における「見守り活動」の範囲や内容について明らかにすることを目指したものである。坂田市内の福祉協力員にアンケート調査を実施し、見守り活動の担い手として期待の大き

<p>・平成 23 年度酒田市大学まちづくり政策形成事業「とびしま未来プロジェクト事業」 報告書</p> <p>③ その他</p>	<p>共</p>	<p>2013 年</p>		<p>い福祉協力員の活動実態や課題を把握した。</p> <p>《総頁数 62 頁》《共同研究者：武田真理子、照井孫久、小関久恵》</p> <p>《執筆担当箇所》アンケート調査結果のうち、「福祉協力員の活動で苦勞していること、悩んでいること」</p> <p>本調査は、2007 年山形県離島振興推進調査で行った提案に沿って島づくり事業および調査事業を展開するための調査研究を行い、次期離島振興計画（2013 年度）に活かすことを目的としている。</p> <p>《共同研究者》呉尚浩、伊藤眞知子、小関久恵、岸本誠司</p> <p>《執筆担当箇所》高齢者福祉サービスを提供する公的・民間福祉セクターの主体に関する調査のうち、「軽度生活支援」、「防災・減災」</p>
---	----------	---------------	--	---

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	<p>山形県介護保険審査会</p> <p>酒田市障害者施策推進協議会</p> <p>鶴岡市障害者施策推進協議会</p> <p>庄内地域福祉有償運送運営協議会</p> <p>酒田市公益活動推進委員会</p>	<p>H22 年 4 月～H25 年 3 月</p> <p>H24 年 7 月～H26 年 6 月</p> <p>H24 年 4 月～H26 年 3 月</p> <p>H24 年 4 月～H25 年 3 月</p> <p>H24 年 4 月～H26 年 3 月</p>	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>構成員</p> <p>委員長</p>
② その他	<p>酒田市立看護学校</p> <p>日本ニュージーランド学会</p> <p>日本公益学会理事</p> <p>山形県立特別支援学校学校評議員</p> <p>酒田市立浜田小学校学校協議員</p> <p>酒田市ボランティアセンター運営委員</p> <p>特定非営利活動法人あらた</p> <p>サポートセンターあおぞら苦情解決委員会</p>	<p>H23 年 4 月～H24 年 3 月</p> <p>H23 年 6 月～H24 年 6 月</p> <p>H24 年 4 月～H25 年 3 月</p> <p>H24 年 4 月～H25 年 3 月</p> <p>H23 年 4 月～H24 年 3 月</p> <p>H24 年 6 月～H26 年 3 月</p> <p>H23 年 5 月～H25 年 5 月</p> <p>H24 年 4 月～H25 年 3 月</p>	<p>非常勤講師</p> <p>監事</p> <p>理事</p> <p>学校評議員</p> <p>学校評議員</p> <p>委員長</p> <p>監事</p> <p>委員</p>

<p>庄内障害者就業・生活支援センター苦情解決委員会</p> <p>社会福祉法人光風会苦情解決第三者委員会</p> <p>吹浦荘苦情解決委員会</p> <p>社会福祉法人酒田市社会福祉協議会苦情解決第三者委員</p> <p>「人生、ここにあり！」映画上映記念イベントシンポジウム</p> <p>みんな違って、みんないい…みんな一緒シンポジウム</p> <p>日本ニュージーランド学会開催</p> <p>WAC ホームヘルパー養成研修2級課程</p> <p>酒田市地域支え合い研修会</p> <p>酒田市市民大学講座</p> <p>障害福祉青年フォーラム2012 in 大分</p> <p>山形県生活衛生営業指導センター インターンシップ報告会</p> <p>山形県立農業大学校地域連携課題中間発表会</p> <p>赤ひげCLUB勉強会</p> <p>日本財団助成事業 大学などの地域資源を活かした社会貢献支援「大学生による公益活動実践授業と授業手法の開発、公益コミュニティサポーターの養成」</p>	H24年4月～H25年3月	委員
	H23年4月～H25年3月	委員
	H23年4月～H25年3月	委員
	H23年6月～H25年6月	委員
	H24年5月26日	シンポジウム・コーディネーター
	H24年6月2日	シンポジウム・コーディネーター
	H24年6月23日	大会運営、総合司会
	H24年7月1日、11月25日	講師
	H24年7月14日、8月18日、10月18日	講師
	H24年7月18日	講師
	H24年8月25・26日	コーディネーター、パネリスト
	H24年10月6日	講師
	H24年10月25日 H23年9月1日	講評者
H24年11月25日 H22年～H25年3月	講師 運営スタッフ	

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	講師 内藤 悟				
1 専門分野、研究テーマ	自治体環境政策、自治体政策法務				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文					
4 研究ノート 「水環境の概念に関する一考 察」東北公益文科大学総合研究 論集第22号	単	2012年	東北公益文科大学		水環境の概念の変容につ いて関係法令の規定から の分析
5 資(史)料					
6 翻訳					
7 学会発表					
8 その他					
① 専門誌 ・「政策条例 NAVI 条例による地 域資源の管理」自治体法務 NAVI vol48	共	2012年	第一法規	4	水資源保全を規定した条 例の制定状況と法的問題 点の分析
・「政策条例 NAVI 条例による地 域空間管理」自治体法務 NAVI vol50	共	2012年	第一法規	4	河川敷地内のバーベキュー 等の行為を規制する条 例の制定状況と法的問題 点の分析
「水資源の保全に関する条例」 プラクティス	単	2012年	北海道町村振興会	4	水資源保全を規定した条 例の制定状況と法的問題 点の分析
③ その他 日韓地方自治法シンポジウム コメンテータ	単	2012年	東亜大学法学専門大 学院		広域行政
海ゴミプラットフォーム・JAPAN 報告	単	2013年	一般社団法人 JEAN クリーンアップ事務局		海洋漂着物法に呼応する 条例整備のあり方

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県職業能力開発審議会 遊佐町鳥海山環境保全条例研究会	H22年8月～ H22年11月～	委員 アドバイザー
② 職員研修	酒田市職員研修(上級スタッフ: 政策法務)	H24年11月	講師

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 渡辺 暁雄				
1 専門分野、研究テーマ	社会学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『ことばの杜へ』	共	2012. 7. 10	荒蝦夷（発行所）	41 頁	山形新聞連載中コラムに 加筆編集。書き下ろしも 追加。
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称）					
4 研究ノート （名称）					
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称）					
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書 「平成24年度庄内景観回 廊・加茂地区活性化事業地域づ くり推進業務」報告書	単	2013. 3	鶴岡市	16 頁	本学委託業務
③ その他 山形新聞連載「<ことば>の杜 へ」	単	2012. 04. 14 2012. 06. 09 2012. 08. 04 2012. 09. 29 2012. 11. 24 2013. 01. 26 2013. 03. 23	山形新聞	毎回 900 字前後	連載コラム 映画、漫画、歌謡曲などサ ブカルチャー作品の中で 用いられる様々なくこと ば>を社会学的に読み解 く。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	・酒田市食育推進委員会 ・酒田市社会教育委員	H18年12月～ H21年5月～	委員長 委員
② その他			

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 呉 衛峰				
1 専門分野、研究テーマ	日中比較文学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 銭稻孫と日本古典文学の中国語 訳——『源氏物語』「桐壺」巻の 訳を中心に—— ※査読付	単	2013年3 月31日	『比較文学』第55 巻、日本比較文学会	pp36-47	豊子愷訳と比較しつつ、銭 稻孫訳『源氏物語』におけ る異化翻訳の特徴と意義 を分析したものである。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 ①銭稻孫と『源氏物語』の中国 語訳	①単	①2012年 7月28日	①日本比較文学会東 北支部第10回比較 文学研究会(仙台)		①銭稻孫の人生を概観し たうえ、『源氏物語』の谷 崎訳、サイデンステッカー 訳などと比較しながら、銭 稻孫の原文構文を重視す る「等価翻訳」の立場を分 析したものである。
②銭稻孫と『源氏物語』の翻訳 ——その成立と特徴を中心に——	②単	②2012年 9月9日	②「東アジア文学及 び文化交流」国際シ ンポジウム		②1930年代のウェイ リー源氏の完訳を背景に、 銭稻孫の『源氏物語』翻訳 の動機を分析し、その翻訳 文体の特徴に隠れている 時代背景と文化意識を解 明しようとしたものでは ある。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他			

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 松田 憲				
1 専門分野、研究テーマ	応用言語学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 (名称)					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 (名称) ② 研究調査報告書 (名称) ③ その他 (名称)					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市都市計画審議会	H21年12月～H25年12月	委員
	鶴岡南高等学校(通信制)学校評議員会	H24年5月～H25年3月	評議員
	鶴岡南高等学校(通信制)学校関係者評価委員会	H24年5月～H25年3月	委員
② その他	酒田市市民大学講座	平成24年7月	講師

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 古山隆				
1 専門分野、研究テーマ	リサイクル工学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)	共著	2012年05月 29日	The 10th Anniversary Korea / Japan International Symposium on Resources Recycling and Materials Science, Daejeon, Korea	p. 1-4	軽質ASRの粉碎産物に対して静電選別によって78.3%の銅を回収することができた。また、重質ASRの細粒産物に対しては渦電流選別と静電選別を組み合わせることで61.9%の銅線と92.7%のアルミニウム細粒産物を得ることができた。
	共著	2013年03月 29日	資源・素材学会2013 春季大会		佐渡鉱山で江戸時代の盛山時代にどのような鉱石を採掘していたかを考察するために、文献調査、坑内及び鉱床露頭部のフィールド調査と現在のこさされている高品位鉱石試料の化学分析を行い、江戸時代における発展の要因を検証した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	・酒田市廃棄物減量等推進 審議会	H24年4月～H25年3月	委員
	・鶴岡市廃棄物減量等推進 審議会	H24年4月～H25年3月	委員
	・山形県環境影響審査会	H24年4月～H25年4月	委員
② その他	・環境資源工学会	H24年4月～H25年3月	監事
	・資源・素材学会	H24年4月～H25年3月	編集員
	・自動車技術会特別部会	H24年4月～H25年3月	幹事

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 広瀬雄二				
1 専門分野、研究テーマ	情報処理				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市情報化計画策定 懇話会	2012年7月	委員
	酒田市情報ネットワー ク更新設計業務に係る 「情報ネットワーク更 新設計アドバイザー」	2012年4月～	アドバイザー
② その他			

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 松山 薫				
1 専門分野、研究テーマ	地理学, 軍事施設, 日輪兵舎, 満州開拓, クラインガルテン				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 (名称)					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称) 「展望 歴史地理 (近・現代)」 (査読無し)	単	2012年6月	人文地理, 64 (3)	254-257	2011年1月～12月に刊行された人文地理学関連の文献のうち、歴史地理学(近・現代)分野の展望を担当した。40本弱の文献を系統地理学的に整理したほか、戦前・戦時下の制度や価値観を背景とした、植民地や軍事関係の研究が特筆すべき一群をなしていることを指摘した。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 1) 「昭和戦前期における呉市の市町村合併と周辺町村の対応」	単	2012年7月	「近代日本の地方拠点都市の成長と人間主体の社会空間的活動に関する歴史地理学的研究」(科学研究費補助金 基盤研究(B))研究集会(兼:「日本地理学会 近代日本の地域形成研究グループ」研究集会)(駿河台大学)		明治期以降、小漁村から軍港都市へと変貌した呉は、1928年の隣接町村の合併によってさらなる拡大の契機を得た。本発表では、この時に編入された旧吉浦町の実業家であり、合併に尽力したとされる野間八郎という人物に焦点をあて、呉市の都市形成と地元有力者の関係に関する予備的考察を行った。
2) "Land Use History of the Site of Fukushima Nuclear Power Plant : From a Military Airfield to the Nuclear Power Station."	単	2012年8月	The 15th International Conference of Historical Geographers (Charles University, Prague, Czech Republic)		東日本大震災により重大事故を引き起こした福島第一原子力発電所の敷地について、その立地に至るまでの土地利用変化を考察した。とくに旧軍用飛行場という土地属性の履歴に着目し、戦前・戦

<p>3)「福島第一原子力発電所の立地経緯の歴史地理学的考察—軍用飛行場が原子力発電所になるまで—」</p>	<p>単</p>	<p>2012年10月</p>	<p>東北地理学会秋季大会（秋田大学）</p>		<p>後の地図、空中写真、その他の一次資料等を用いて分析した。</p> <p>福島第一原子力発電所の立地経緯を、地元自治体の議会関係資料、新聞報道等の分析により考察した。「縁辺地域」という地元有力者層の地域認識と、買収の容易な大規模平坦地を求める東北電力の思惑が一致した過程を検証した。同時に他の候補地に複数の旧軍用地が挙がっていた事実から、大規模な国策的・実験的施設の種地ともいべき旧軍用地の典型的転用事例として、さらなる歴史地理学的検討が必要であることを指摘した。</p>
<p>4)「軍港都市の市長 —「輸入」と「土着」—」</p>	<p>単</p>	<p>2013年1月</p>	<p>「近代日本の地方拠点都市の成長と人間主体の社会空間的活動に関する歴史地理学的研究」（科学研究費補助金 基盤研究 (B)) 研究集会 (駿河台大学)</p>		<p>明治以降昭和戦前期までの呉市長の経歴と、在任中の主たる業績、退任の経緯等を整理し、軍港都市の特徴を考察した。呉市の市長に関しては、古くから「輸入」「土着」と称する2つの属性とともに語られてきた。前者は地方名望家層であり、後者は海軍関係者および内務省関係者（他県の元知事等）である。市長の退任理由も、市制の混乱・不祥事等によるものが目立ち、戦前に任期を満了しえた市長は「土着」系1名のみであった。</p>
<p>8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 「酒田に期待される外国人観光客の来訪」</p>	<p>単</p>	<p>2012年4月</p>	<p>Future SIGHT (フイデア総合研究所), 56</p>	<p>28</p>	<p>酒田市における外国人旅行者のための言語バリアフリー事業に関するコラム。</p>

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県公共事業再評価監視委員会	H23年4月～H25年3月	委員
	外国人旅行者の移動容易化のための言語バリアフリー化調査事業委員	H23年12月～H24年3月	委員
② その他	学術雑誌「季刊地理学」編集委員会	H21年4月～H25年3月	編集委員
	山形県立高畠高等学校出張授業	H24年10月24日	講師
	山形県立鶴岡南高等学校出張授業	H24年12月13日	講師
		H24年12月20日	

東北公益文科大学

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 武田真理子				
1 専門分野、研究テーマ	社会政策、社会保障、福祉まちづくり（地域福祉）				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『「小さな大国」ニュージーランドの教えるもの－世界と日本を先導した南の理想郷』	共 （日本ニュージーランド学会・東北公益文科大学ニュージーランド研究所編）	2012年	論創社	pp. 132 -154	第3章1「1938年社会保障法の日本への紹介と評価－世界で最初の体系的社会保障法の日本への影響－」を担当執筆。 編集委員。
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート 「ひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する一考察－酒田市民生委員・児童委員、琢成学区コミュニティ振興会、日向コミュニティ振興会の見守り活動の実態調査より－」	共 （武田真理子・小関久恵・澤邊みさ子・照井孫久）	2012年7月	『東北公益文科大学総合研究論集』第22号	pp. 139-157	酒田市内でも高齢化率が約40%と最も高い琢成学区、日向地区における見守り活動の担い手へのヒヤリング調査と、市全域の民生員・児童委員を対象としたアンケート調査による見守り活動の実態調査を通して、酒田市の地域福祉の実態と課題を抽出し、酒田市に対して提言を行った。
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 「ニュージーランドにおけるひとり親世帯の自立支援の現状：Huntly Community Link のケース・スタディを中心に」	単	2012年6月23日	日本ニュージーランド学会第19回研究大会		科研費研究「ニュージーランドにおけるひとり親世帯の自立支援政策とその効果に関する調査研究」（課題番号21730460）の成果の一部を発表した。
8 その他 ① 専門誌 「東北公益文科大学『震災復興教育プロジェクト』の経過と教育上の効果に関する一考察」	単	2013年3月	『共生と修復』第3号	pp. 65-67	教育の視点を中心に、東日本大震災後の東北公益文科大学の被災地・被災者支援活動と平成24年度から開始した「震災復興教育プロジェクト」の概要とその教育上の効果に関する考察を行った。

<p>② 研究調査報告書 平成 24 年度酒田市大学まちづくり政策形成事業報告書「酒田市におけるひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する調査研究—福祉協力員、学区・地区社会福祉協議会を中心に—」</p> <p>③ その他</p>	<p>共 (小関久恵、澤邊みさ子、照井孫久)</p>	<p>2013 年 2 月</p>		<p>pp. 1-14、57-61</p>	<p>平成 24 年度酒田市大学まちづくり政策形成事業として、酒田市におけるひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手の実態の解明を目的とした調査研究の報告。初めての福祉協力員の実態調査となり、現行制度の実態と課題が明らかになった。</p>
---	--------------------------------	-------------------	--	-----------------------	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
<p>① 県・市町村の委員会</p>	<p>山形県社会福祉審議会 山形県立酒田光陵高等学校 酒田市認可外保育施設審議会 酒田市子育て支援推進協議会 「子育てするなら山形県」推進協議会 鶴岡市地域コミュニティあり方検討委員会 庄内地域高齢者見守り・支え合い活動推進会議 山形県議会個人情報保護運営審議会</p>	<p>H15 年 6 月～H 年 月 H24 年 4 月～H 年 月 H20 年 4 月～H 年 月 H20 年 9 月～H 年 月 H24 年 2 月～H26 年 1 月 H24 年 3 月～H25 年 3 月 H24 年 4 月～H25 年 3 月 H25 年 3 月～H27 年 2 月</p>	<p>委員 評議員・評価委員 会長 委員長 委員 委員 アドバイザー 委員</p>
<p>② その他</p>	<p>日本ニュージーランド学会 厚生労働省社会福祉推進事業「共生型福祉施設の設置運営支援事業」ワーキンググループ 公益教育研究会 社会福祉法人正覚会 社会福祉法人あすなろ福祉会 川南地域ネットワーク会議 福祉サービス第三者評価事業平成 24 年度社会的養護関係施設評価調査者養成研修会修了 第 56 回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 酒田市地域支え合い研修会 「学区・地区社協による地域支え合い活動への期待」 「地域の見守り・支え合いと個人情報について」</p>	<p>H22 年 6 月～H 年 月 H24 年 8 月～H25 年 3 月 H17 年 9 月～H 年 月 H18 年 6 月～H 年 月 H24 年 8 月～H26 年 8 月 H22 年 12 月～H24 年 4 月 H24 年 9 月 H24 年 9 月 H24 年 6 月～H24 年 10 月 H24 年 6 月 22 日 H24 年 7 月 3 日</p>	<p>理事 委員 副会長 監事 評議員 委員 社会的養護関係施設評価調査者 研修討議コーディネーター コーディネーター 平成 24 年度地域支え合い活動実践報告会講師 平成 24 年度庄内地域高齢者見守り・支え合い活動推進事業第 1 回活動推進会議ミニ講座講師</p>

<p>「地域における防災への取り組み～災害時要援護者支援を中心に～」</p> <p>「住民主体の見守り・支えあう地域連携・協働活動のあり方」</p> <p>「高齢社会の地域づくり」</p> <p>「ニュージーランドにおける生活保障の到達点と課題」</p> <p>「防災に強い近所づきあいを目指して～福祉まちづくりの視点から～」</p> <p>「地域における見守り・支え合い活動の推進方法について」</p> <p>「利用者支援のためのサービス評価の展開－福祉サービス第三者評価事業の目的と現状－」</p> <p>「温海地域の福祉まちづくりを考える」</p> <p>「高齢社会における地域づくり」</p> <p>「福祉サービス第三者評価の目的と保育所における自己評価」</p> <p>「鶴岡市丸岡地区の今後と地域づくりの課題」</p>	<p>H24年7月24日</p> <p>H24年7月26日</p> <p>H24年8月17日</p> <p>H24年8月25日</p> <p>H24年10月21日</p> <p>H24年11月7日</p> <p>H24年12月5日</p> <p>H24年12月14日</p> <p>H25年1月26日</p> <p>H25年2月26日</p> <p>H25年2月26日</p>	<p>平成24年度酒田市「災害：その時あなたは・・・」講座講師</p> <p>鶴岡市第五学区 第1回地域福祉ケア・ネットワーク会議講師</p> <p>酒田市老人クラブ連合会平成24年度「老連大学」講座講師</p> <p>障害福祉青年フォーラム2012in 大分（障害福祉青年フォーラム実行委員会主催）講師</p> <p>平成24年港南区総合防災訓練・研修会講師</p> <p>平成24年度第2回庄内地域高齢者見守り・支え合い活動推進会議講師</p> <p>平成24年度社会福祉法人役員研修会講師</p> <p>平成24年度温海地域コミュニティ研修会講師</p> <p>遊佐町蕨岡まちづくり協会区長・部落公民館長・ご近所ネット推進会議委員合同研修会講師</p> <p>朝日町立あさひ保育園福祉サービス第三者評価研修会講師</p> <p>鶴岡市櫛引地域住民自治組織活性化事業講師</p>
---	--	---

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 西村まどか				
1 専門分野、研究テーマ	素粒子理論				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 □ (査読付論文の区別) (名称)	1. 共著	2012	JHEP 1209(2012)051	15	熱場の理論に関する数値計算 共形超重力上のBLG理論について
	2. 共著	2013	JHEP 1301(2013)120	26	
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 <input type="checkbox"/> 専門誌 <input type="checkbox"/> 研究調査報告書 <input type="checkbox"/> その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
1 県・市町村の委員会	中村ものづくり運営委員会	2012 年度	運営委員
2 県・企業との合同委員会	循環型社会システムの創造研究委員会	2012 年度	委員長
3 その他	「かずのふしぎ、しぜんのふしぎ」(全4回)	H24年10月~H24年11月	主催者

東北公益文科大学

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 鎌田剛				
1 専門分野、研究テーマ	ナレッジマネジメント、ソーシャルワーク、スーパービジョン				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 黒龍江省におけるサービス産業 (高齢者福祉サービス)に關する 市場環境および消費者動向等 調査 ③ その他 東北公益文科大学における震災 後対応の私的記録(1)	共 単	2013年3月 2013年3月	平成24年度東アジア 交流促進事業 委託事業報告書 「共生と修復」第3 号、共生と修復研究 会	pp. 55-60, 64-74, 106-110 pp. 63-64	ハルビン市の訪問調査を 3回実施した結果を執筆 した。 タイトルのとおり、震災後 の本学の活動内容を報告 した。続編も執筆予定。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他	平成24年度鶴岡市主任介 護支援専門員研修企画会議	H24年5月18日	アドバイザー
	山形県医療ソーシャルワー カー協会研修会	H24年5月19日	講師
	鶴岡市社会福祉協議会専門 員研修会	H24年6月15日	講師
	鶴岡市主任介護支援専門員 研修会(ケアプラン点検)	H24年7月23日	講師
	介護職員基礎研修課程50 0時間(庄内地域)	H24年7月27日	講師
	平成24年度鶴岡市主任介 護支援専門員研修会(ケア	H24年11月27日	講師

	プラン点検)		
	平成24年度「地域福祉リーダー養成研修」	H24年11月29日	講師
	鶴岡市社会福祉協議会専門員研修	H24年12月4日	講師
	鶴岡市主任介護支援専門員研修	H25年1月10日	講師
	山形県グループホーム連絡協議会研修会	H25年2月14日	講師
	山形県医療ソーシャルワーカー協会研修	H25年3月9日	講師
	鶴岡市社会福祉協議会専門員研修会	H25年3月7日	講師

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 神田直弥				
1 専門分野、研究テーマ	人間工学・交通心理学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市地域公共交通会議	H24~H25	委員
② その他	山形県鶴岡南高等学校 SSH 運営指導委員会	H24年9月~H25年3月	委員

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 尾身祐介				
1 専門分野、研究テーマ	CSR、コーポレートガバナンス				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『Economics of Innovation, Incentives and Uncertainty』	共	2012	発行者 Nova Science Pub Inc	Pp57-78	日本企業の取締役会構成 が企業価値に与える影響 を実証的に分析した。分 析に際しては両者の内生 性の問題に対処するた め、2段階 GMM を用い て推定をおこなった。
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他	財団法人山形県水産振 興協会 公益法人移行認 定検討委員会	H24年4月～H25年3月	委員
	酒田エフエム放送株式 会社 番組審議委員会	H23年4月～	委員

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	講師 竹原幸太				
1 専門分野、研究テーマ	専門分野：児童福祉・司法福祉・教育学 研究テーマ：子どもの育成支援に関する総合的研究				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『「小さな大国」 ニュージーラ ンドの教えるもの』	共	2012年7月	論創社	pp.284-308	日本ニュージーランド学 会・東北公益文科大学ニ ュージーランド研究所の 編著。4章3「ファミリー グループ・カンファレン スの研究動向と日本での 実践課題」を執筆。日本 ではニュージーランドの ファミリーグループ・カ ンファレンスが紹介段階 から、実践段階に入っ ていることを研究動向と関 連付けて論述した。
3 学術論文 ※（査読付論文 の区別） （名称） 修復的実践の国際動向とスキ ルトレーニングについて－第 14回 I I R P 国際会議に参加 して（査読無）	単	2012年5月	『共生と修復』2号	pp.56-59	2011年6月開催の第14 回 IIRP（修復的実践のた めの国際会議）ワールド カンファレンスで受講し た修復的実践のスキルト レーニングについて考察 し、日本での適用可能性 について論じた。
4 研究ノート （名称） 菊池俊諦の児童保護事業職員 養成活動－実務家兼研究者と しての役割（付）菊池俊諦児童 保護事業職員養成活動記録	単	2013年1月	『東北公益文科大学 総合研究論集』23 号	pp.37-67	児童保護事業における 「児童の権利」擁護認識 を考察する前提として、 「児童の権利」思想を唱 えた菊池俊諦の職員養成 活動記録を整理した。な お、本稿は科研費研究の 成果報告の一部として発 表した。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称） 『ソーシャルワークと修復的 正義』	共	2012年11月	明石書店	pp.300-382	エリザベス・ベック、ナ ンシー・P・クロフ、パメ ラ・ブラム・レオナルド

					編(林浩康監訳)。9章「家族の権利におけるフェミニストの視点」(ジョン・ペネル、メアリー・コス)、10章「暴力発生後の協働」(ナンシー・J・グッド、デビット・L/ガスタフソン)を担当した。
7 学会発表 (名称) 児童保護事業職員養成における「児童の権利」擁護認識―菊池俊諦の児童保護事業職員養成活動に注目して	単	2012年5月	社会事業史学会第40回大会(於日本女子大学)		「児童の権利」論を唱えた初代武蔵野学院長菊池俊諦が児童保護事業職員養成でいかに「児童の権利」を唱えたのかを報告した。なお、本報告は科研費研究の成果報告の一部として発表した。
子ども育成支援における修復的実践の意義と課題―問題解決過程への当事者参加	単	2012年6月	第8回R J全国交流会(於早稲田大学)		日本の少年司法・児童福祉・学校教育での修復的実践の意義について、問題解決への子ども参加の視点から検討を加えた。
学校教育における修復的実践の連続構造―「正義」と「ケア」の調和と教育・福祉・司法によるチーム支援	単	2012年8月	第13回日本司法福祉学会全国大会(於東洋大学)		分科会「ケアに応答する正義」において話題提供者として報告した。学校での修復的実践には、教師とカウンセラー、ソーシャルワーカー等のチーム支援が必要である点を論じた。なお、本報告は平成24年度東北公益文科大学奨励研究の成果報告の一部として発表した。
「児童の権利」を基盤とする非行児童保護に関する歴史的研究―菊池俊諦の児童保護思想を軸として	単	2012年10月	第60回日本社会福祉学会(於関西学院大学)		戦前の感化教育・少年教護分野における「児童の権利」を基盤とした非行児童保護事業構想について、菊池俊諦の児童保護思想を軸にして考察した。なお、本報告は科研費研究の成果報告の一部として発表した。
8 その他 ① 専門誌 岐路に立つ少年司法―「問題行為の規制」か「子どもの成長発達の支援」か『子ども白書2012』	単	2012年8月	草土文化	pp.128-130	ライフサイクルの視点から少年事件の背景を考察した。その上で、少年法は問題行為規制よりも、成長発達支援に軸を置く

② 研究調査報告書 菊池俊諦の児童保護事業職員養成における「児童の権利」擁護認識に関する研究（科研費研究若手 B）	単	2012年4月			性質であることの確認の必要性を論じた。
③ その他 （提言）実行力あるいじめ対策	単	2012年12月	『山形新聞』（朝刊） 2012年12月4日		科研費研究若手 B「菊池俊諦の児童保護事業職員養成における「児童の権利」擁護認識に関する研究」の1年次の成果報告を提出した。
修復的司法の先進国ニュージーランドに学ぶもの	単	2013年2月	館報光丘（山形県酒田市立中央図書館）	p.3	大津市いじめ事件以降のいじめの社会問題化を受け、これまでのいじめ対策を概観しつつ、提言として学級全体で問題を考える相互関係的な生徒指導方法について提言した。
少年非行の増加・凶悪化は本当か？－実態に即した非行問題解決を考える	単	2013年3月	『平成24年度東北公益文科大学 Evening 公益カフェ 講義レポート』	pp.26-29	東北公益文科大学ニュージーランド研究所での研究紹介。ニュージーランドの修復的司法について概観しつつ、日本での少年司法の方途について論述した。
『菊池俊諦の児童保護・児童福祉思想に関する研究－戦前・戦中・戦後の軌跡と現代児童福祉法制への継承』の執筆過程と今後の課題	単	2013年3月	早稲田大学教育学研究、4号	pp.119-131	2013年1月8日（於鶴岡キャンパス）に開催した公益カフェ担当回の講義記録。
					2012年度学位授与された博士論文の概要及びその執筆過程について記述した。

9 社会貢献	委員会等名称	年限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	酒田市小・中学校区改編審議会	H24年12月～H25年12月	委員
	庄内地区里親及び七窪思恩園合同懇談会	H25年2月8日	助言者
② その他			

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	講師 菅井マリー				
1 専門分野、研究テーマ	Intercultural communication				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)	単著 単著	2012 2013	東北公益文科大学 総合研究論集	22号 87~105 23号 27~36	言語学
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					教育

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	NPO MEETINGS	H24年6月30日～ H24年9月30日	NPO 法人 博英舎 こころや 役員
② その他	羽黒高等学校 スピーチコンテスト審査員	H24年 9月11日	

東北公益文科大学

平成 24 年度研究業績調書

職位 氏 名	講師 陳 激				
1 専門分野、研究テーマ	戦後日中関係史・中国語教育				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『』					
3 学術論文 ※ (査読付論文 の区別) 漁業問題をめぐる戦後日中関係 —第一次日中民間漁業協定の締 結を中心に (査読付)	単	2013 年	漁業経済学会『漁業 経済研究』第 57 巻第 1 号	67 ～ 85 頁	本稿は、戦後の日中漁業問 題の実態、民間交渉をめぐ る漁業関係者の考えの違い や日本政府との関係を分析 し、民間会談及び漁業協定 に対する日本の漁業関係 者、政府及び中国の思惑は、 それぞれ異なるものであっ たことを明らかにした。漁 業協定交渉は漁業関係者の 安全操業という彼らの生活 がかかったものであったた め、民間交流を重視した貿 易協定とは一線を画してお り、現実問題を解決するも のであったことも示した。
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 平成 24 年度東アジア交流促進事 業のうち、山形県からの委託事 業『黒龍江省におけるサービ ス産業 (高齢者福祉サービ ス) に 関する市場環境および消費者動 向等調査』 ③ その他	共	2013 年	東北公益文科大学	1～21 頁	黒龍江省における高齢者状 況や政策的方向性を明らか にし、施設事業に関する可 能性について検討した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他			
山形銀行「中国語・中国事情」出張講座		2012年4月～2012年11月	講師 ※ 受講者10名全員が中国語検定準4級に合格(うち1名が3級、2名が4級合格)した。
(社)山形県国際経済振興機構メールマガジンの執筆		2012年10月～2013年3月	※ 内容:中国経済事情(地域別)
平成24年度山形県「国際人材育成研修」		2013年1月24日	講師 ※ 内容:日中経済交流、中国ビジネス習慣、ビジネス中国語
東北パイオニア(株)「中国ビジネス事情」出張講座		2013年2月	講師 ※ 受講者:98名
出羽商工会「中国ビジネス事情」講座		2013年2月	講師 ※ 受講者:42名
東北パイオニア EG(株)「中国ビジネス事情」講座		2013年3月	講師 ※ 受講者:30名

平成24年度研究業績調書

職位 氏名	講師 山本裕樹				
1 専門分野、研究テーマ	物理学、素粒子理論、インターネット望遠鏡				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概要
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称) 「Pions in Nuclear Effective Field Theory: How They Behave Differently at Different Scales and How the Decouple at Very Low Energies」 (査読無し) 「 Practical Computational Scheme Implementing the Wilsonian RG Results for Nuclear Effective Field Theory Including Pions」 (査読無し) 「Wilsonian RG Analysis of the P-wave Nucleon-Nucleon Scattering Including Pions」 (査読無し)	共著	2013	Few-Body Systems 54	1	パイオンを含む NEFT において、パイオンがスケールの違いでどう振る舞うかをウィルソン流繰り込み群を用いて明らかにした。
	共著	2013	Few-Body Systems 54	1	ウィルソン流の繰り込み群をもとに、短距離のパイオン交換の効果を接触項で計算する方法を提案し、散乱振幅の計算を行った
	共著	2013	Few-Body Systems 54	1	パイオンを含む NEFT において、P 波の散乱振幅をウィルソン流繰り込み群を用いて解析した。
7 学会発表 (名称) 「Astronomical Education and Outreach Activity by Using the Keio University Internet Telescope」	共同ポスター発表	2012	国際天文連合 第 28 回 総会 (中国 北京)		これまでのインターネット望遠鏡を利用した天文教育とアウトリーチ活動について紹介した。
8 その他 ② 研究調査報告書 “庄内地域の高校2年生を対象としたアンケート調査実施報告書”	共著	2013	東北公益文科大学 庄内プロジェクト	25 頁	庄内地域の高校2年生全員を対象とした地域課題や将来の進路などについてのアンケート調査の分析を行った。

9 社会貢献	委員会等名称	年限	職務 (委員/委員長等)
① その他 大学コンソーシアムやまがた	企画会議	H24年4月～H25年3月	委員
慶應義塾大学自然科学センター		H24年4月～H25年3月	共同研究員

東北公益文科大学

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	講師 三島憲之				
1 専門分野、研究テーマ	日本経済思想史				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他	慶應義塾福澤研究センター	H24年4月～H25年3月	研究嘱託

東北公益文科大学

平成24年度研究業績調書

職位 氏 名	講師 小関久恵				
1 専門分野、研究テーマ	社会福祉学、社会福祉教育				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区 別)					
(名称) 「福祉系初年次学生の特徴～四年制大学と短期大学の比較から～」(査読有)	共	平成25年1月	日本社会福祉教育学会誌第7号	pp. 99-107	福祉系学部学科の初年次教育における学生支援の体制作りのために、アンケート調査結果をもとに入学期後の四大生と短大生の特徴を概観した。
「社会福祉専門職養成教育における初年次教育の課題～社会福祉士養成四年制大学に所属する初年次女子学生の実態から～」(査読有)	共	平成25年1月	日本社会福祉教育学会誌第7号	pp. 109-122	社会福祉士養成四年制大学における初年次女子学生の特徴について、大学類型(共学、別学)および学生類型(ポジティブ、ネガティブ)の視点を用いて分析した。
「初年次教育再考～学びの共同体の構築を目指して～」(査読有)	共	平成25年1月	日本社会福祉教育学会誌第7号	pp. 123-133	社会福祉系大学における初年次教育のあり方を再考することを目的として、初年次教育が導入された背景や教育内容、抱えている課題、意義を整理した。
4 研究ノート (名称) 「ひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する一考察～酒田市民生委員・児童委員、琢成学区コミュニティ振興会、日向コミュニティ振興会の見守り活動の実態調査より～」	共	平成24年7月	東北公益文科大学総合研究論集第22号	pp. 139-157 共同執筆	酒田市の中心市街地である琢成学区と中山間地域である日向地区を対象に、ひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手とその活動内容の実態を把握し、各担い手や地域が抱える課題、地域における「見守り活動」の範囲や内容について明らかにした。
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					

「保健医療福祉系大学における教養教育の問題（3）～コア・カリキュラムにおける人文社会系教養教育の意義を考える」ラウンドテーブル報告『社会福祉系モデル・コア・カリキュラムにおける人文社会系教養教育の意義』	単	平成24年5月26日	大学教育学会第34回大会（会場：北海道大学）		「学問への再審問」の役割としての教養教育を念頭に置き、社会福祉系モデル・コア・カリキュラムの中での専門教育との連携や教育内容について報告した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 「平成24年度酒田市大学まちづくり政策形成事業『酒田市におけるひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する調査研究』報告書」 「平成24年度酒田市大学まちづくり政策形成事業『とびしま未来プロジェクト事業』報告書」 「東北公益文科大学公益総合研究センター庄内プロジェクト公開シンポジウム『高校生から見た地域の魅力と課題～庄内どうでしょう～』報告書」、「庄内地域の高校2年生を対象としたアンケート調査実施報告書」 ③ その他	共 共 共	平成25年2月 平成25年2月 平成25年3月		pp. 1-62 共同執筆 pp. 1-167 共同執筆 共同執筆	酒田市のひとり暮らし高齢者の見守り活動における福祉協力員を対象に実施したアンケート調査結果の分析。 飛島の高齢者福祉に寄与するべく、住民の暮らしや介護に対する意識やニーズを把握し、現在のサービスの課題を明らかにした。主に、第Ⅱ部 pp. 1-29 を担当。 平成24年度庄内プロジェクトの活動である庄内地域の高校2年生を対象として実施した調査結果および公開シンポジウムの内容をまとめた。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	山形県立酒田西高等学校	H24年5月～H25年3月	学校評議員
	山形県地方港湾審議会	H24年8月～H 年 月	委員
② その他	平成24年度市民大学講座	H24年8月1日	講師
	NPO法人いぶき「地域ささえあい研修会」	H24年12月2日	講師
	出張講義「大学で学ぶことの意義」（学校法人天真林昌学園 和順館高等学校）	H24年12月16日	講師

酒田市日向地区地域支え合い研修会		H24年5月～H24年10月	コーディネーター
山形県立酒田光陵高等学校「公益と産業社会」研究発表会		H25年1月15日、22日 2月5日	アドバイザー

東北公益文科大学